

取扱説明書

オールインワンワイヤレスカメラ・モニター セット [UCS シリーズ]



品番

UCS1000M-1L

このたびはユニデン オールインワン ワイヤレスカメラ・モニター セットをお買い上げいただきありがとうございます。

- 製品をご使用になる際は必ず「安全上のご注意」をお読みください。安全のための注意事項をお守りいただけない場合は、お使いになるかたや他の人への危害や物的損害の原因となることがあります。
- 本書では、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。よくお読みの上、安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店」などの記入を確かめ、大切に保管してください。

もくじ

はじめに

安全上のご注意	3
使用上のお願い	6
電波の到達距離について	6
設置場所について	6
防塵・防水性能について(カメラのみ)	6
電波について	6
夜間撮影モードについて	6
センサーライト機能について	6
その他	7

ご使用前の準備

本製品の特長	8
本体と付属品	9
各部のなまえ(液晶モニター)	10
各部のなまえ(カメラ)	11
設置をする前に(必ず事前に ご確認ください)	12
カメラを準備する	13
液晶モニターを準備する	14
バッテリーパックを取り付ける	14
microSDカードスロットに microSDカードを挿入する	14
電源をオンにし、カメラの映像が 映ることを確認する	15
カメラを設置する	16
設置場所にカメラを取り付ける	16

基本的な使いかた

表示画面について	18
全画面表示モード	18
(特定のカメラ映像を画面全体に 表示にする)	18
分割表示モードについて	18
表示アイコン・ボタンについて	19
スクリーンセーバーについて (スリープボタン)	20
ポップアップメニューを表示する	21

カメラモードを切り替える	22
カメラ映像を自動で切り替える (自動切替モード)	22
カメラ映像を手動で切り替える	23
ズーム表示する	23
ズーム表示にする	23
液晶モニターの音量を	24
調節する	24
カメラの白色LEDライトを 手動で点灯・消灯する	24
カメラのアラート音を 鳴らす	25
簡易トランシーバー機能を使う	25
映像を録画する	26
映像を自動で録画する (動体検知機能で録画する)	27
映像を自動で録画する (予約録画機能で録画する)	27
映像を手動で録画する	27
録画した映像を見る・削除する (録画一覧)	28
録画ファイルを再生する	28
録画ファイルを削除する	29

各種設定

メニューについて	30
メインメニュー・各メニューを表示する	30
カメラ設定	31
ペアリング	31
カメラOn/Off	32
輝度	33
解像度	33
ナイトビジョン設定	34
ちらつき抑制(アンチフリッカー)	34
録画設定	35
動体検知録画時間	35
予約録画	36
ファイル上書き (microSDカードの上書き設定)	37
録音On/Off	37

動体検知録画On/Off	38
システム設定	39
時刻設定	39
ネットワーク設定	40
言語	42
初期設定	42
メモリーカードを初期化	43
ファームウェア更新	43
動体検知設定	45
アラート設定	47
モニター側アラート	47
カメラ側アラート	49
照明設定	50

スマートフォンからアクセスする

はじめに	51
おもな機能	51
動作環境	51
アプリをダウンロードし、 インストールする	51
本機をインターネット回線に 接続する	52
スマートフォンアプリを使う	53
アプリに本機を登録する	53
パスワードを変更する	54
アプリの基本的な使いかた	55
デバイスを編集する	58
録画済みの映像を確認する	59

ご参考

故障かな?と思ったら	60
お手入れについて	64
保証書	65
仕様	67

はじめに

■安全上のご注意

製品を正しく安全にご使用いただくために、ご使用前に必ず次の事項をお読みください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

火災、感電などにより死亡や大けがを負うおそれがある内容を示しています。



注意

けがをしたり周囲の物品に損害を与えたりするおそれのある内容を示しています。

絵表示の説明

注意をうながす記号	行為を禁止する記号	行為を指示する記号
 一般的注意	 禁止	 一般的指示
	 分解禁止	 電源プラグを抜く
	 ぬれ手禁止	

警告

分解・修理・改造をしないでください

けがや感電などの事故または故障の原因となります。



分解禁止

煙・異臭・異音が出た場合、落下・破損した場合は、使用を中止し、ACアダプターを抜いてください

・落としたり、水がかかったり、破損した場合は使用を中止し、ACアダプターを抜く

・煙やにおい、音などの異常が発生したら、使用を中止し、ACアダプターを抜く

火災・感電などの原因となります。

ACアダプターは必ず付属のACアダプターを使用し、他のACアダプターを使用しないでください

また、本機に付属のACアダプターを他の製品に使用しないでください



電源プラグを抜く



禁止

ACアダプターのコードを破損するようなことをしないでください

・設置時に、製品と壁や床などの間に挟み込まない

・加工したり、傷つけたりしない

・重いものをのせたり、引っ張ったりしない

・熱器具に近づけたり、加熱したりしない

・ACアダプターを抜く時は、必ず本体を持って抜く

火災・感電などの原因となります。

病院内などの使用を禁止された区域では使用しないでください

医療機器に影響を与え、事故の原因となることがあります。



禁止



禁止

次のような場所では設置・使用しないでください

■ 医用電気機器の近く
(手術室・集中治療室・CCUなど)
*CCU: 冠状動脈疾患監視病室

■ 自動ドア・火災報知器などの自動制御機器の近く

■ 心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以内の位置

本機の電波で、誤作動による事故の原因となることがあります。

水滴のかかる場所や、湿気、湯気、油気、ほこりの多いところには設置しないでください

火災、感電の原因となることがあります。

ねじなどの小物類は、乳幼児の手の届くところに置かないでください

誤って飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



禁止



禁止



禁止

安全上のご注意 (つづき)

警告

AC100V以外での使用、コンセント・配線器具の定格を超える使用、タコ足配線をしないでください

火災や感電の原因となることがあります。



禁止

ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

ACアダプターをぬらさないでください (ACアダプターは防水・防滴構造ではありません。)

感電の原因となることがあります。万一ぬらした場合は、ACアダプターに手を触れず、販売店にご相談ください。



禁止

浴室やシャワー室では使用しないでください

本機は防水仕様ではありません。感電や故障などの原因となることがあります。



浴室での使用禁止

ACアダプターは確実に差し込んでください

差し込みが不完全な場合は発熱したり、ほこりが付着して火災・感電の原因となることがあります。



確実に差し込む

水をかけたり、ぬらしたりしないでください

火災・感電・故障の原因となります。



禁止

近くに花瓶など水の入ったものを置かないでください

水がこぼれるなどして中に入ると、火災、感電の原因となります。



水ぬれ禁止

雷が鳴り出したら、ACアダプターに触れないでください

感電の原因となります。



接触禁止

機器内部に異物を差し込んだり、針金などの導電物を差し込んだり、接続したりしないでください

感電・火災・故障の原因となります。



禁止

ACアダプターにホコリなどが付着しているときは、ACアダプターを抜いて乾いた布で取り除いてください

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



ほこりを取る

お手入れや長時間使用しないときはACアダプターを抜いてください

感電や故障の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

移動するときは、ACアダプターをはずしてください

コードが傷つき感電や故障の原因となることがあります。



接続線をはずす

LEDライト部に可燃性のフードや囲いなどをつけないでください

感電・火災・故障の原因となります。



禁止

ライトの点灯中、または消灯後しばらくの間はLEDライト部が熱くなっていますので、絶対に素手で触れないでください

やけどの原因となります。



接触禁止

点灯しているLEDライトを直接見ないでください

視力障害の原因となります。



禁止

■バッテリーの取り扱いについて

バッテリー使用前に、必ず機器の取扱説明書、または注意書きをお読みください



注意

本機以外の機器に使用しないでください
また、指定以外の方法で充電しないでください

漏液、発熱、破裂や発火の原因となります。



禁止

バッテリーを直接電源コンセントや自動車のシガレットライターの差込口に接続しないでください

感電したり、高い電圧が加えられることによって過大な電流が流れ、バッテリーを漏液、発熱、破裂、発火させる原因になります。



禁止

バッテリーを火の中に投入したり、ホットプレートなどで過熱しないでください

絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護機構を損傷するだけでなく、発熱、破裂、発火の原因になります。



禁止

バッテリーに高所からの落下など強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください

バッテリーが変形したり、バッテリーに組み込まれている保護機構が壊れ、異常な電流、電圧でバッテリーが充電される可能性があります。発熱、破裂、発火の原因になります。



禁止

バッテリーの端子に直接ハンダ付けしないでください

熱により絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護機構が損傷し、発熱、破裂、発火の原因になります。



禁止

バッテリーの充電や放電中に可燃物を上に載せたり、覆ったりしないでください

バッテリーを発熱、破裂、発火させるおそれがあります。



禁止

安全上のご注意 (つづき)

警告

バッテリーを長期間使用しない場合は機器からはずして湿気の少ないところに保管してください



注意

乳幼児や動物・ペットには、バッテリーの取り扱い、運搬をさせないでください(舐める、口に入れる、噛む等の危険防止)



禁止

電池の使用、充電、保管時の異臭、発熱、変色、変形、その他今までと異なることに気づいたときは、機器あるいは充電器より取り出し、使用しないでください



禁止

そのまま使用を続けた場合、電池が発熱、破裂、発火する原因になります。

バッテリーパックを変形させないようにしてください



禁止

万一変形させてしまった場合は<クニデン>お客様センターにご相談ください。

バッテリーを水、海水、ジュースなどの液体で濡らさないでください



禁止

バッテリーに組み込まれている保護回路が壊れ、異常な電流、電圧でバッテリーが充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。

直射日光の当たるところやストーブのそばなど、高温になる場所での使用や放置はしないでください



禁止

液もれ、発熱、破裂や発火の原因になります。

バッテリーのプラス端子とマイナス端子とを金属で接続しないでください
また、バッテリーをネックレスやヘアピン、コイン、鍵などと一緒に持ち運んだり、保管しないでください



禁止

バッテリーのプラスとマイナスがこれらの金属によりショートし、過大な電流が流れ、発熱、破裂、発火、あるいはこれらの金属などが発熱する原因になります。

バッテリーに釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください



禁止

バッテリーが変形、保護機構が破損する可能性があり、発熱、破裂、発火の原因になります。

バッテリーを電子レンジや高压容器などに入れないでください



禁止

急に加熱されたり、密封状態が壊れたりして、発熱、破裂、発火の原因になります。

バッテリーはプラス・マイナスの向きが決められています。機器に接続する際にうまくつながらない場合は、無理に接続しないでください



禁止

プラス・マイナスを逆に接続すると、バッテリーが逆に充電され内部で異常な反応が起り、バッテリーを漏液、発熱、破裂、発火させる原因になります。

バッテリーを分解したり、改造しないでください



禁止

バッテリーには危険を防止するためのガス排出弁や保護機構が組み込まれています。これらを損なうと、バッテリーが発熱、破裂、発火する原因になります。

使用機器及び電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください



禁止

不用意な取り扱いには危険を伴います。

バッテリーには寿命があります
機器の使用時間が短くなったときは、新しいバッテリーとお取り替えください



注意

電池が漏液したり、異臭がするとき、直ちに火気より遠ざけてください



注意

漏液した電解液に引火し、破裂、発火の原因になります。

また液が皮膚に付着したり、目に入った場合はきれいな水で洗った後、直ちに医師の診察を受けてください。皮膚の障害や失明などの原因になります。

本機より電池を取りはずす際、ドライバーや硬貨、鍵など尖ったものでこじって取り出さないでください



禁止

電池を変形させるおそれがあります。

注意

お手入れをするときはシンナーやベンジンなどの薬品を使用しないでください



禁止

変質、変形、変色の原因となります。

不安定な場所に置かないでください
落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。



禁止

■ 使用上のお願い

電波の到達距離について

設置環境や障害物の有無、天候または周囲の状況などにより電波の到達距離は変化します。電波到達距離のめやすは以下の通りです。金属外壁や窓に Low-E ガラスを使用している場合など、到達距離が極端に短くなる場合があります。

木造 (W 造)	10 ~ 40m
鉄骨造 (S 造)	10 ~ 20m
コンクリート造 (RC 造、SRC 造、CB 造等)	5 ~ 10m

電波到達距離はあくまでもめやすであり、電波到達距離以内での電波の受信を必ずしも保証するものではありません。

カメラと受信機の間に以下のような遮蔽物があったり、周囲に電波を反射する物体等がある場合は、電波の届く距離が極端に短くなる場合があります。

(金属製のドアや雨戸、シャッター、アルミ箔の入った断熱材や金属の板が入った壁、トタン製の壁、コンクリート・石・レンガなどの壁、防火ガラス、壁を何枚もへだてたところ、別棟、スチール棚、金属製フェンス、金網など)

お使いになる前に設置環境をお確かめください。

設置場所について

次のようなところには設置しないでください。

テレビ、ラジオ、エアコン、電子レンジ、パソコンなどの OA 機器、無線 LAN 機器、その他ワイヤレス機器などの近く

電波干渉により、画像が乱れたり、音声途切れたりすることがあります。また、他の無線機器に障害を与える場合があります。

直射日光のあたる場所や冷暖房器具の近く

誤動作や変形・故障の原因となります。

温度変化の激しいところ

結露により誤動作することがあります。

防塵・防水性能について (カメラのみ)

本製品のカメラには、IP66 相当の防水性能がありますが、完全防水構造ではありません。

カメラを屋外に設置する場合は、雨水などのかかりにくい軒下などに設置することをお勧めします。

なお、AC アダプター、および電源延長ケーブルは防水 (防滴) 仕様ではありません。水に濡れない場所でご使用ください。

・ 液晶モニターには防水性能はありません。

本製品は、犯罪・盗難防止、災害防止機器ではありません。

電波について

本機は 2.4 ~ 2.4835GHz の全帯域を使用する無線設備です

移動体識別装置の帯域が回避不可能で、変調方式は「DSSS/OFDM 方式」、与干渉距離は 40m です。本機にはそれを示す右記のマークが貼付されています。

2.4DS4/OF4

本機の使用周波数に関するご注意

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) および特定小電力無線局 (免許を要しない無線局) ならびにアマチュア無線局 (免許を要する無線局) が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の AC アダプターを抜いて、< ユニデン > お客様センター (☎裏表紙に記載) にご連絡いただき、混信回避のための処置など (例えばパーティションの設置など) についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、< ユニデン > お客様センター (☎裏表紙に記載) へお問い合わせください。

夜間撮影モードについて

カメラ内蔵の照度センサーがカメラ周辺の明るさを感じし、自動で夜間撮影モードに切り替えます。

- ※ 夜間撮影モード時は白黒映像となります。
- ※ カメラに内蔵された赤外線を投光し、被写体が赤外線を反射することで撮影が可能となります。
- ※ カメラの赤外線投光範囲は最大 15m となっておりますが、投光範囲内に被写体がない場合は、何も映らない状態になります。夜間の映像は、昼間の映像に比べノイズが多く、また被写体や周囲の明るさで映像品質が異なります。
- ※ 夜間、光源のある場所に設置すると夜間撮影モードへの切り替えがされず、赤外線の投光がされない場合があります。設置場所は昼間だけでなく夜間の環境も確認の上、選定してください。

センサーライト機能について

本機の人感センサー (PIR センサー) は、温度変化を動きとして捉えます。そのため、人以外にも動植物、自動車なども検知する場合があります。

■使用上のお願い (つづき)

また気温、体温、服装、移動速度、移動方向などにより、検知感度が大きく変化します。

また、電源を入れた直後はセンサー回路をリセットしたり、内部動作確認を行うため、一定時間センサーが不安定な動作となる場合がありますが、故障ではありません。

●検知しない、検知感度が悪い場合

- ・人が静止しているとき
- ・周囲が明るいとき
- ・夏場など気温が体温に近づいたとき
- ・センサーに対して向かってくるとき
- ・塀やガラスなど遮蔽物がある場合（ガラス越しには検知できません）
- ・電源を入れた直後、あるいは瞬断、停電があった場合

●勝手に点灯する場合

- ・動物や自動車など、他の物体を検知したとき
- ・風、雨、草木の“ゆれ”などを検知したとき
- ・エアコンの室内機や室外機、換気扇、給湯器などによる急激な温度変化を検知したとき
- ・電源を入れた直後、あるいは瞬断、停電があった場合

その他

- ・本製品で録画した映像を記録したパソコン、ハードディスク、記録メディア等を廃棄・譲渡・返却するときは、個人情報流出を防止するため、記録した映像をすべて消去してください。

■免責について

当社はいかなる場合においても以下に関する一切の責任を負いません。

- ・本製品の動作の状態（正常・異常）にかかわらず、犯罪・事故等が発生した場合の損害
- ・本製品の設置（取り付け・取りはずしなど）により生じた建物への損害やその他の損害
- ・お客様ご自身、または権限のない第三者が本製品を分解・修理・改造等を行ったことにより生じた損害
- ・地震・雷・風水害・雪害などの自然災害、または当社の責任によらない火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害
- ・本製品の故障や不具合を含む何らかの理由により映像が表示されない、あるいは録画・録音されなかった場合に生じた損害、および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）
- ・当社が関与しない機器やソフトウェア等を本製品と組み合わせて使用したことによる不具合、あるいはそれにより生じる損害
- ・本製品により記録された映像が何らかの理由により公となり、または記録目的以外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど

■個人情報保護について

- ・本製品により撮影、記録された人物・その他の映像で、個人を判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従い、映像情報は適正にお取り扱いください。
 - ※ 撮影、記録された映像の開示・公開、インターネットでの配信はあらかじめ本人の承諾を得ることが必要となり、本製品を運用する方の責務となりますのでくれぐれもご注意ください。
 - ※ 個人情報保護委員会が定めるガイドラインを参照して下さい。

■プライバシー、著作権および肖像権について

- ・本製品を使用して記録された映像を無断で複製、放映、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。
- ・お客様が本製品で録画した映像を権利者に無断で使用、開示、頒布または展示等を行うと、著作権・肖像権等の侵害となる場合があります。なお、実演や興行、展示物などの中には、監視などの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている映像やファイルの伝送は、著作権法で許容された範囲内での使用に限られます。

■用途の制限について

- ・本製品は、日本国内での使用を目的として設計されています。海外では使用しないでください。
- ・本製品は、一般家庭等での使用を目的として設計されています。特に本製品を生命、財産等に著しく影響を及ぼすおそれのある、高信頼性を必要とする用途に使用することは絶対におやめください。このような用途に使用された場合に生じた損害に対し、当社は一切の責任を負いません。
 - ※ 高信頼性を必要とする用途：化学プラント、医療機器等の制御、その他重要な監視用途等

■商標および登録商標について

- ・本書に記載の会社名・製品名・ロゴ・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

■スマートフォンからのアクセス

- ・スマートフォン等の他機器から本機にアクセスして本機の機能を使用する場合（以下、本機能という）、アクセスに用いられる通信事業者のサービスまたは他機器の機能が理由で、本機能が利用できなくなる場合があったとしても、当社は一切の責任を負うものではありません。また、当社が必要と判断する場合、あらかじめお客様に通知することなく、本機能の全部または一部の内容を変更、またはその提供を中止できるものとします。

- ※ 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がありましたら、<ユニデン>お客様センターへお申しつけください。

ご使用前の準備

■ 本製品の特長

● ワイヤレスで簡単設置

カメラと液晶モニター間はワイヤレスのため、電源があればどこにでもすぐに設置が可能。

● スマートフォンから映像確認

簡単な登録のみで、外出先のスマートフォンから無料アプリでカメラ映像の確認ができます。

● 専用アプリケーション（無料）

U Guard™ アプリケーションは、スマートフォンへ無料でダウンロードできます。（iPhone, Android™ 対応）

● 赤外線ナイトビジョン機能搭載

赤外線によるナイトビジョン（暗視モード）を搭載（最大15m）。
暗闇の屋外・屋内もしっかり見えます。

● センサーライトを搭載

動体検知機能に連動して点灯させることができるほか、タイマー点灯、手動点灯、また照度設定も行えます。

● 付属の microSD カードへの簡易録画機能搭載

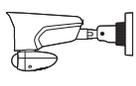
スケジュール・手動・動体検知録画に対応。最大4台のカメラで同時録画が可能（最大フル HD1080P 録画）。

● その他の特長

▶ デジタル伝送によるノイズの少ないクリアな映像

▶ 最大4台までのカメラが登録可能

■ 登録（増設）可能カメラ

品番	外観	おもな特長・機能
UCS001L		増設用屋外カメラ (センサーライト付) * 本機付属カメラと同等品

▶ 液晶モニター

■ タッチスクリーンでの画面操作が可能

■ AC 電源、内蔵バッテリーの2電源方式

▶ カメラは IP66 相当の防水性能で、屋外（軒下）設置も可能

▶ カメラ・液晶モニターはそれぞれマイク・スピーカーを搭載

■ トランシーバー機能（カメラ1台 ↔ 液晶モニター間での簡易通話）

■ 音声モニタリング（液晶モニターに1画面表示の場合）

▶ 動体検知機能、アラート（警報）機能を搭載

■ 動体検知アラート

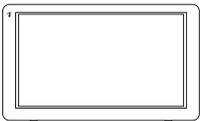
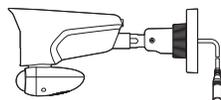
（動体を検知した際、モニター側にアラート音でお知らせ、カメラ側はフラッシュ点滅・音声アラートでの警報発報が可能）

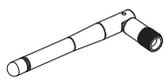
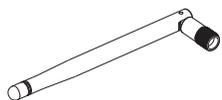
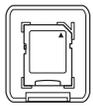
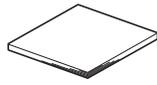
■ VMD：映像動体検知エリアマスク*

（動体を検知させたくない映像領域を指定し、除外する機能）

* エリアマスクは映像動体検知に対してのみ有効となる機能です。
PIR（人感センサー）には反映されません。

■ 本体と付属品

外 観	品 名	数量
	10V 型液晶モニター	1
	AC アダプター (液晶モニター専用) (品番：PS-7004) [コード長さ：約 1.8m]	1
	リチウムイオンバッテリー (液晶モニター専用) (品番：BP-7002)	1
	屋外カメラ (センサーライト付) [電源ケーブル長さ：約 2.2m]	1
	AC アダプター (屋外カメラ (センサーライト 付) 専用) (品番：PS-7005) [コード長さ：約 1.8m]	1

外 観	品 名	数量
	カメラ取付用ネジ、アンカー (各 4 本)	1
	カメラ用アンテナ ※ あらかじめ屋外カメラ本体に 装着されています。	1
	モニター用アンテナ ※ あらかじめモニター本体に 装着されています。	1
	LAN ケーブル	1
	microSD カード (32GB) * ※ あらかじめモニター本体に 装着されています。	1
	SD カードケース、 SD カードアダプタ	各 1
	取扱説明書 (保証書含む)	1

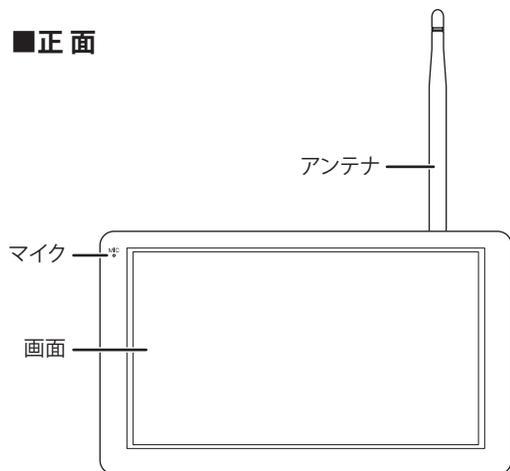
* 生産時期により、付属する microSD カードの記憶容量が変更になることがあります。

※ 65 ページが保証書となっています。保証書にはお買い上げ日をご記入のうえ、大切に保管してください。

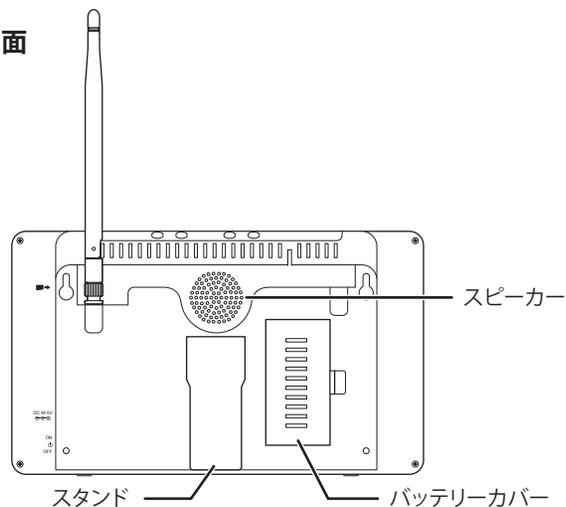
※ この取扱説明書のイラスト・画面などは説明のため、実際のものとは異なる場合があります。

■各部のなまえ (液晶モニター)

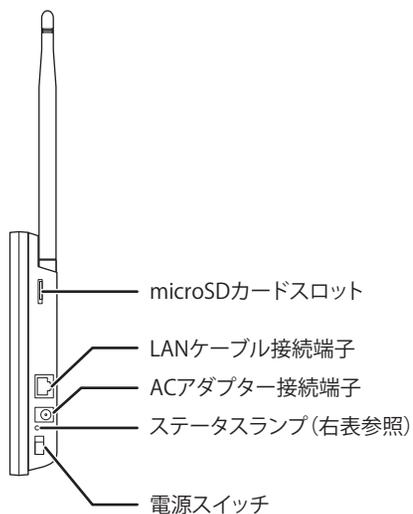
■正面



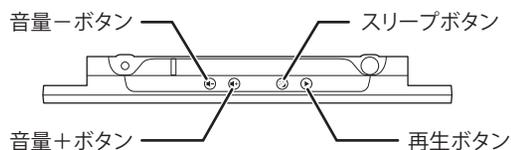
■背面



■右側面



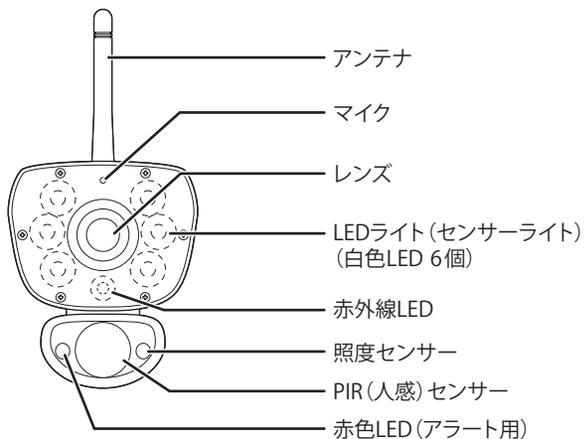
■上面



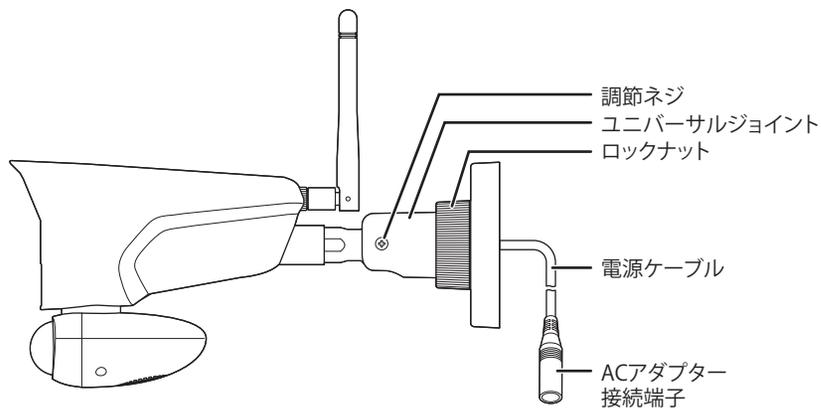
充電中	赤色点灯
満充電	緑色点灯
バッテリー残量少	青色点滅
スリープ時	青色点灯

■各部のなまえ (カメラ)

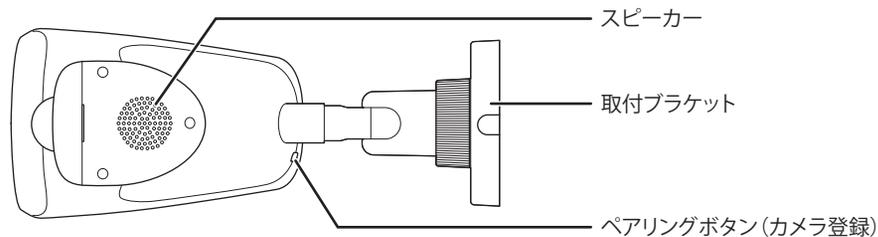
■正面



■側面



■底面



■設置をする前に (必ず事前にご確認ください)

本機を設置する前に、必ず映像・音声および電波の受信確認を行ってください。

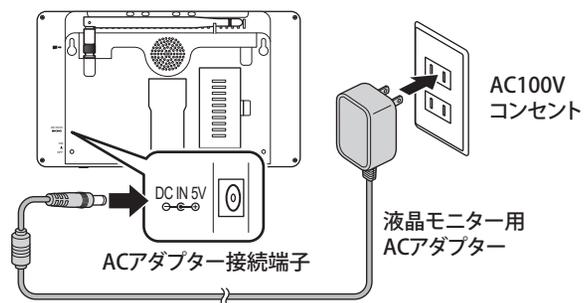
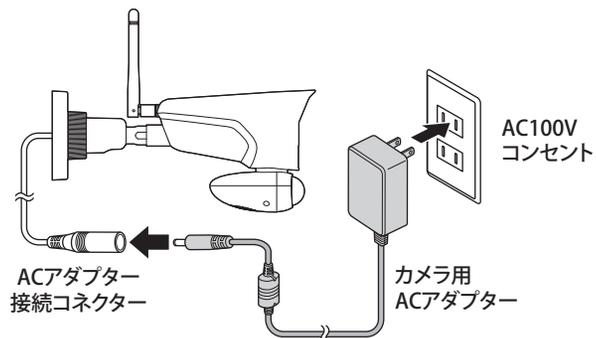
1 カメラおよび液晶モニターの電源を接続する

接続のしかたについては各ページをご覧ください。

- ・カメラアンテナの取り付けを確認する (☞次ページ)
- ・カメラに電源を接続する (☞次ページ)
- ・液晶モニターにバッテリーパックを取り付ける (☞14 ページ)
- ・液晶モニターに電源を接続する (☞15 ページ)

ご参考

- 映像が映らないときは、カメラの登録 (ペアリング) を行ってください (☞31 ページ)。



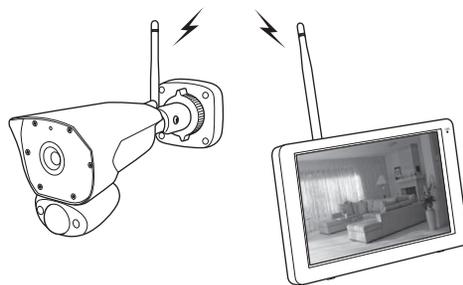
2 映像が映ることを確認する

液晶モニターの電源を入れ、カメラの映像が受信できることを確認します。

※カメラの映像を切り替えるには (☞22 ページ)。

3 カメラおよび液晶モニターを、それぞれ設置する予定の場所に移動させ、映像が映ることを再度確認する

カメラ、液晶モニターのアンテナ方向を調整するなどして、電波が良好に受信できる場所かどうかを確認してください。



■カメラを準備する

1 アンテナの取り付けを確認する

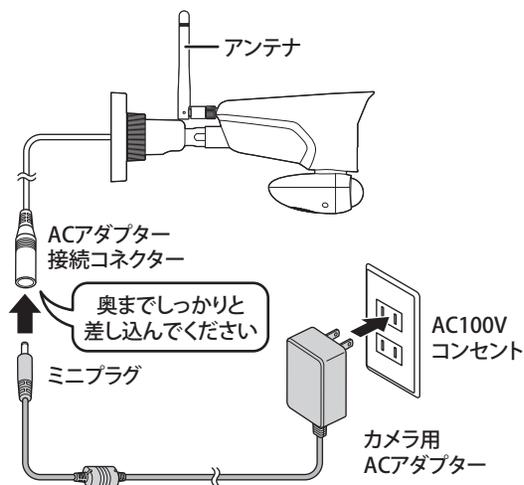
アンテナはあらかじめカメラに取り付けられています。

- ✎ アンテナはネジ式となっています。ゆるんでいる場合はアンテナ根元の溝部分を持って時計回りに回してください。
- ✎ アンテナを締め付ける際は、ペンチやプライヤーなどの工具を使用しないでください。

2 カメラ用 AC アダプターを取り付ける

付属のカメラ用 AC アダプターのミニプラグ側をカメラ背面の AC アダプター接続コネクタに接続します。コンセントプラグ側は家庭用コンセントに接続します。

- ✎ カメラには電源スイッチ、通電ランプ等はありません。電源を接続すると電源オンの状態となります。



ご注意！

- AC アダプターは必ず本機に付属の専用 AC アダプターをご使用ください。他の AC アダプターは使用しないでください。
- AC アダプターは確実に奥まで差し込んでご使用ください。
- AC アダプターは防水（防滴）仕様ではありません。水に濡れない場所でご使用ください。
- カメラの AC アダプター接続コネクタ部分は防水構造ではありません。コネクタ部分が屋外などで水に濡れるおそれがある場合は、市販の自己融着テープなどを使用し、必ず防水処理を施してください。

液晶モニターを準備する

液晶モニターは AC コンセント・内蔵リチウムイオンバッテリーの 2 電源方式です。用途や設置場所に合わせてお使いいただけます。内蔵バッテリーで初めてお使いになる際は、必ず AC アダプターを接続し、十分に充電してください。

バッテリーパックを取り付ける

1 バッテリーカバーを開ける

液晶モニター背面のバッテリーカバーをはずします。

2 バッテリーパックを取り付ける

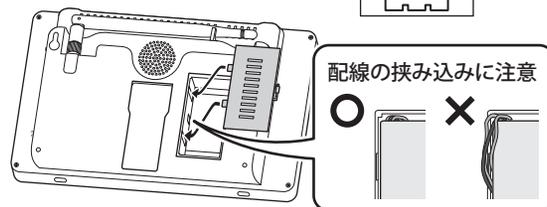
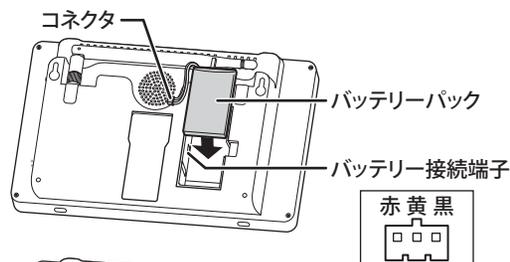
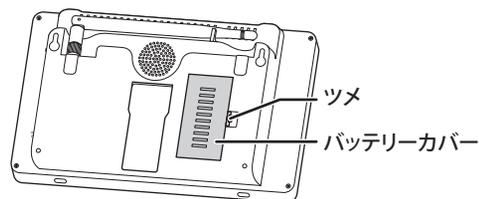
バッテリーパックを右図の向きで挿入し、コネクタ部分を液晶モニターのバッテリー接続端子にしっかり奥まで挿入します。

ご注意!

- バッテリーパックおよびコネクタは、挿入方向を間違えないようご注意ください。

3 バッテリーカバーを元通りに取り付ける

バッテリーパックの配線を挟み込まないように注意しながらバッテリーカバーを取り付けます。



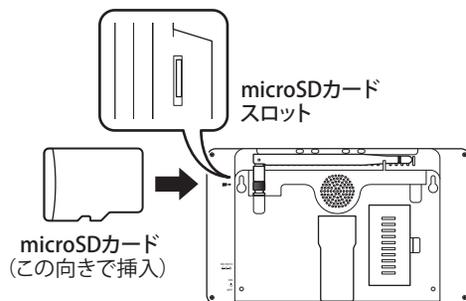
microSD カードスロットに microSD カードを挿入する

※ 工場出荷時、本機にはあらかじめ microSD カード 1 枚が装着されています。

microSD カードを挿入しておく、映像を録画することができます (☞ 26 ページ)。また、本機ファームウェアをアップデートする際 (☞ 43 ページ) も microSD カードを使用して行います。挿入する際は、microSD カードの向きに注意してカチッと音がするまで差し込んでください。

ご注意!

- microSD カードの抜き差しは、必ず液晶モニターの電源がオフの状態で行ってください。



■液晶モニターを準備する (つづき)

電源をオンにし、カメラの映像が映ることを確認する

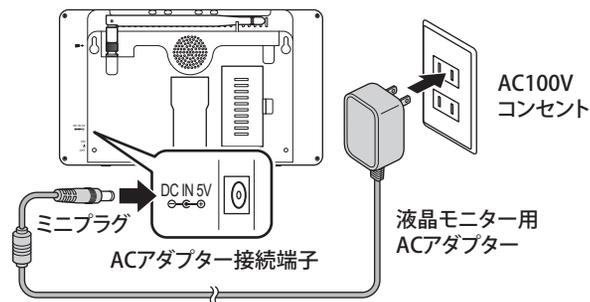
1 液晶モニター用 AC アダプターを取り付ける

付属の AC アダプターのミニプラグ側を液晶モニター背面の AC アダプター接続端子に接続します。コンセントプラグ側は家庭用コンセントに接続します。

※接続すると、モニター本体右側面のステータスランプが状態に応じて点灯／消灯します。

ご注意!

AC アダプターは必ず本機に付属の専用 AC アダプターをご使用ください。他の AC アダプターは使用しないでください。



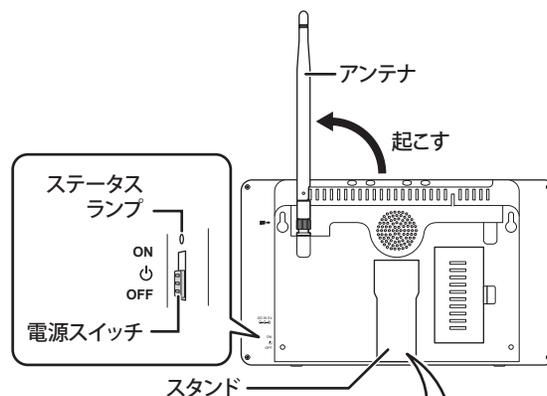
2 電源をオンにする

本体右側面の電源 (⏻) スイッチをオンにするとステータスランプが青色点灯になり、起動中画面が表示されます。カメラとの通信ができていれば、画面には接続カメラの映像が映し出されます。

液晶モニターの電源を切るときは…

電源 (⏻) スイッチをオフにする

画面表示が消えたことを確認してください。



3 アンテナを起こし、液晶モニターを設置する

設置する場所の状況に応じて、アンテナを起こし、電波が良好に受信できる場所に設置してください。

設置の際は背面のスタンドを起こし、画面が見やすい角度となるようスタンドで調整してください。

アンテナはネジ式となっています。ゆるんでいる場合はアンテナ根元の溝部分を持って時計回りに回してください。

アンテナを締め付ける際は、ペンチやプライヤーなどの工具を使用しないでください。



■カメラを設置する

カメラを設置する前に、あらかじめ映像・音声および電波の受信確認を行ってください（☞ 12 ページ）。

設置場所にカメラを取り付ける

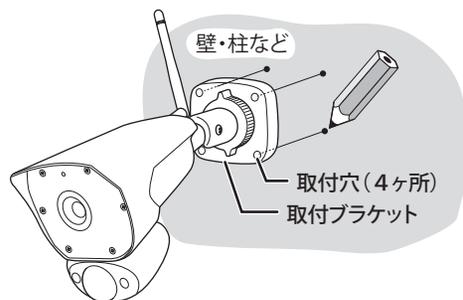
カメラを設置場所に固定する前に、仮設置の状態でもう一度映像および電波の受信確認を行うことをおすすめします。またその際、カメラの取付方向や撮影範囲も併せて確認してください。

- 設置場所が本製品を取り付けるのに十分な強度のあることを確認してください。
- センサーライトに関する注意点もご参照ください（☞ 6 ページ）。

1 カメラを設置する場所を決める

取り付ける場所が決まったら、取付穴（4ヶ所）の位置をペン等でマーキングしておきます。

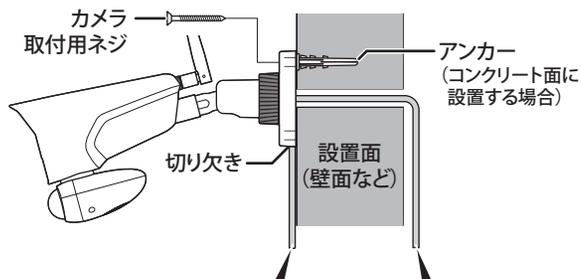
- 電源ケーブルを設置面に通す場合は、あらかじめ設置場所にφ15mm程度の穴を開け、電源ケーブルを通してください。



2 取付ネジ4本で取付ブラケット部を固定する

付属のカメラ取付用ネジ4本で取付ブラケット部を設置面にしっかりと固定します。

- コンクリート面に設置する場合は、あらかじめ設置場所にφ5.5～6.0mm程度の穴を開け、付属のアンカーを打ち込んでから、カメラ取付用ネジで固定してください。
- カメラ取付用ネジを締める際は、電動工具は使用しないでください。また、ブラケット部が破損しないように注意して締め付けてください。



電源ケーブルの
処理について

設置面を通さないとき

取付ブラケットの切り欠きに配線を通します。

設置面を通すとき

取付ブラケット取付位置の中心にφ15mm程度の穴を開け、配線を通します。

■カメラを設置する(つづき)

3 ACアダプターを接続し、液晶モニターで映像を確認しながら、カメラの角度・方向を調整する

取付ブラケット部の調整ネジ、ロックナットを少しゆるめ、カメラ本体およびユニバーサルジョイント部を動かしてカメラの角度・方向を調整します。

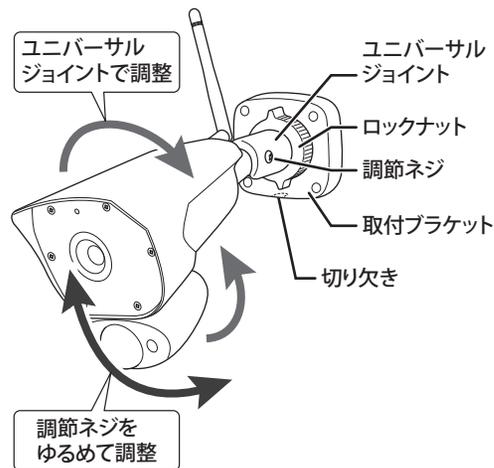
 図のように取付ブラケットを壁面に対して垂直に取り付ける場合は、雨水の浸入を防ぐため、切り欠きが下になるようにしてください。

調整が終わったら、各部をしっかりと締め付けます。

ご注意!

- ロックナットを締め付ける際は必ず手で締めてください。
- 調節ネジは手回しドライバーで締め付けてください。その際、強く締め付けすぎないようにご注意ください。
- 各部を可動範囲以上に曲げないでください。破損するおそれがあります。

カメラの角度・方向を調整する



調整のしかた

- ① 調整ネジ、ロックナットを適宜ゆるめます。
- ② カメラのおおよその角度・方向が決まったら、ロックナットを仮締めします。
- ③ カメラが最適な角度・方向となるよう調整し、調節ネジ、ロックナットを本締めします。

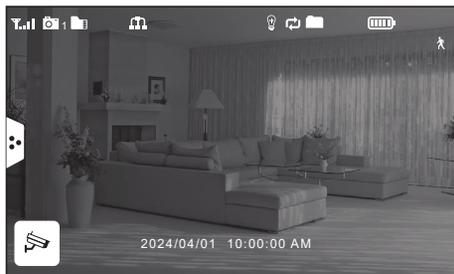
基本的な使いかた

■表示画面について

液晶モニターはタッチパネル式となっています。操作はモニター画面に直接触れて（タップして）行います。

全画面表示モード (特定のカメラ映像を画面全体に表示にする)

初めて液晶モニターの電源をオンにしたときは、カメラからの電波が受信できると、以下のような画面が表示されます。この画面表示を「全画面表示モード」と呼びます。



- ※ 全画面表示モード中は、カメラからの音声もモニタリングされます。音量の調整は液晶モニター上面の音量+/-ボタンで行います。
- ※ 画面に表示される各種アイコンやボタンについては「表示アイコン・ボタンについて」(☞次ページ)をご覧ください。

分割表示モードについて

増設用カメラ（別売）を登録すると、本機はカメラを最大4台まで増設できます。カメラを2台以上登録し、カメラのOn/Off設定(☞32ページ)で2台以上が「On」のときに表示される画面を「分割表示モード」と呼びます。



※カメラを4台登録している場合の表示例（4分割表示）

- ☞増設用カメラ（別売）をご使用の場合、カメラを2台登録している場合は2分割表示、3台以上登録している場合は4分割表示となります。
- ※ 画面に表示される各種アイコンやボタンについては「表示アイコン・ボタンについて」(☞次ページ)をご覧ください。
- ※ 一定間隔でカメラ映像を自動的に切り替えて表示することもできます。詳しくは「カメラモードを切り替える」(☞22ページ)をご覧ください。

■表示モードを切り替える

(分割表示モード画面で)

全画面表示したいいずれかの画面を押す

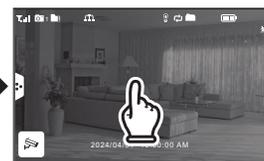
選択したカメラの映像に切り替わります。

もう一度押すと、分割表示モードに戻ります。



分割表示モード

全画面表示したい画面を押す



全画面表示モード

映像が全画面表示されます
(音声もモニタリングされます)

表示画面について(つづき)

表示アイコン・ボタンについて

全画面表示モード・分割表示モードの各モード中に表示されるアイコンやボタンには、それぞれ以下のものがあります。

■全画面表示モード



■分割表示モード

カメラを4台登録している場合の表示例(4分割表示)



① メニュータブ

この部分に触れるたび、「ポップアップメニュー」(☞ 21 ページ)が表示/非表示されます。

② 受信強度

カメラからの受信電波強度を表します。



③ カメラ番号(1/2/3/4)

カメラのチャンネル番号を表します。

④ microSD カード容量/録画一覧

● microSD カードが挿入されているときに表示されます。
※ SD カードの空き容量が少ないときは、赤色で表示されます。

⑤ 録画中

録画中に赤色点滅で表示されます。

⑥ ネットワークステータス

ネットワーク接続状態を表します。

🟢 (緑色) インターネット接続中

🔴 (赤色) インターネット未接続

🟡 (黄色) アクセス中

🟡 (白色) インターネット接続中
(スマートフォンアプリ使用中)

⑦ ファームウェア通知

新しいファームウェア (☞ 43 ページ) がある場合に表示されます (ネットワーク接続時のみ)。

⑧ LED ライト (全画面表示モード時のみ)

カメラのLEDライトの状態(点灯・消灯)を表示します (☞ 24 ページ)。

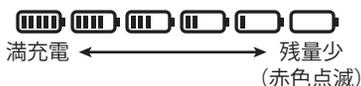
🔦 消灯

🔦 点灯(手動による点灯)

🔦 点灯(動体検知による点灯)

表示画面について(つづき)

- ⑨ **microSD カード書き込みステータス**
microSD カードが上書き可の設定になっている場合(☞ 37 ページ)に表示されます。
- ⑩ **新規録画データあり**
新しい録画ファイルがあるときに緑色で表示されます。
- ⑪ **マイク(全画面表示モード時のみ)**
PTT ボタンを押している間、モニターのマイクからカメラに送話できます(☞ 25 ページ)。
※ PTT ボタンを押している間、表示されます。
- ⑫ **モニターバッテリー容量**
モニターの内蔵バッテリー残量が6段階で表示されます。



- ※ 充電中はが点灯表示します。
※ AC 給電による動作時は、上図の「満充電」時の点灯表示となります。

- ⑬ **動体検知録画**
動体検知録画モードの設定オン(☞ 38 ページ)時に赤色で表示されます。
- ⑭ **音声モニタリング**
カメラからの音声モニタリング状態を表示します。
▶ (緑色) 音声モニタリング・オン
▶× (赤色) 音声モニタリング・オフ
- ⑮ **カメラ手動切替ボタン**
(カメラを2台以上お使いの場合で、全画面表示モード時のみ)表示するカメラを手動で切り替えます(☞ 23 ページ)。
- ⑯ **音量表示**
液晶モニターの音量+/-ボタンを押したときに、現在の音量が表示されます。
- ⑰ **日付・時刻**
現在の日付・時刻が表示されます。
- ⑱ **自動切替モード表示**
(カメラを2台以上お使いの場合で、全画面表示モード時のみ)自動切替モード中に表示されます(☞ 22 ページ)。

- ⑲ **音声モニタリング自動切替**
(カメラを2台以上お使いの場合で、分割表示モード時のみ)カメラを約10秒おきに自動で切り替えて、カメラからの音声モニタリングを行います。
▶ (緑色) 音声モニタリング自動切替・オン
▶× (赤色) 音声モニタリング自動切替・オフ
- ⑳ **自動切替モードボタン**
(カメラを2台以上お使いの場合で、分割表示モード時のみ)カメラを約8秒おきに自動で切り替えて、全画面表示します(☞ 22 ページ)。

スクリーンセーバーについて(スリープボタン)

液晶モニターの電源がオンのとき、本体上部の (スリープ)ボタンを押すと、画面に「スクリーンセーバーモードに入ります」とメッセージが表示されたあと、液晶モニターの画面が消えます。



スクリーンセーバーモードから復帰するには、画面をタップする、または液晶モニターのいずれかのボタンを押してください。
※ 動体検知設定が「オン」のとき、動体を検知すると自動的に復帰し、動体検知したカメラの映像を表示します。
※ スクリーンセーバーモード中は、液晶モニター本体側面のステータスランプが青色点灯します。
※ ポップアップメニューやメニュー画面の表示中は、スクリーンセーバーモードに切り替わりません。

表示画面について(つづき)

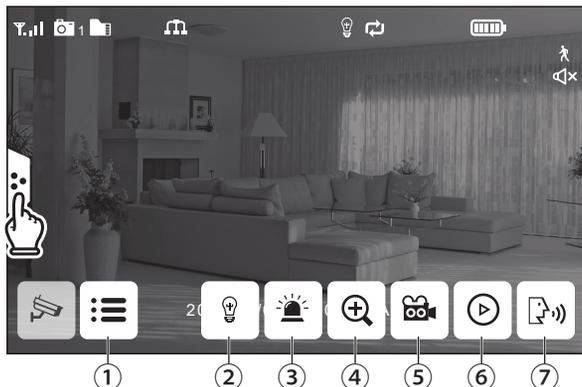
ポップアップメニューを表示する

画面左横のメニュータブを押す

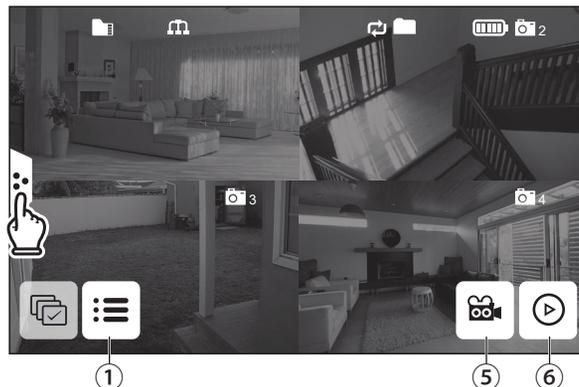
押すたびに、画面下部にポップアップメニューが表示／非表示されます。

※全画面表示モード・分割表示モードで選択できるメニュー数が異なります。

全画面表示モード時



分割表示モード時



① メインメニュー

メインメニュー (☞ 30 ページ) を表示します。

※ メインメニュー各項目の詳細については「各種設定」の章 (☞ 30 ~ 50 ページ) をご覧ください。

② LED ライト

カメラの白色 LED ライトを手動で点灯・消灯します。

③ アラート (サイレン音)

表示中のカメラのアラート (サイレン音) を、手動で発報・停止します。

④ ズーム

ズーム画面を表示します (☞ 23 ページ)。

⑤ 録画

● 全画面表示モード時

押すと表示中のカメラの映像を手動で録画します (☞ 27 ページ)。

● 分割表示モード時

押すとすべてのカメラの映像を手動で録画します (☞ 28 ページ)。

⑥ 録画ファイルリスト表示

録画ファイルリスト画面を表示します (☞ 28 ページ)。

⑦ PTT ボタン

ボタンを押している間、モニターのマイクから表示中のカメラに送話できます (☞ 25 ページ)。

ご参考

- ポップアップメニューやメニュー画面の表示中に、何も操作しない状態が約 15 秒間続くと、自動的に元の画面に戻ります。

■カメラモードを切り替える

表示画面を各カメラの映像に自動、または手動で切り替えることができます。

ご参考

- 表示中は画面をズーム表示することもできます (⇒次ページ)。

カメラ映像を自動で切り替える (自動切替モード)

自動切替モードに設定すると、画面が各カメラの映像および音声に自動で切り替わります。

(分割表示モード画面で)

画面左下の「 (自動切替モードボタン)」を押す

自動切替モードになります。画面右下に **SEQ** が表示されます。表示画面が自動で各チャンネルの映像・音声に順次切り替わります。

※ 画面は約8秒間隔で切り替わります。

※ 表示中に画面のいずれかの部分 (メニュータブ、カメラ手動切替ボタン以外) を押すと、分割表示モードに戻ります。

※ 表示中に  (カメラ手動切替) を押した場合は、次のカメラチャンネル画面に切り替わり、自動切替モードが終了します。

分割表示モード



分割表示モード画面で



を押す

自動切替モード ※カメラ4台を登録している場合の表示例



自動切替モードを終了するとき

- 画面をタップする → 分割表示モードに戻ります。
- 画面右下の  を押す → 次のチャンネルの全画面表示に切り替わります。

■カメラモードを切り替える (つづき)

カメラ映像を手動で切り替える

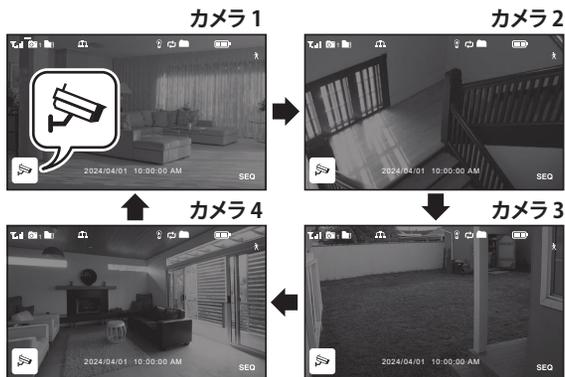
(全画面表示モード画面で)

画面右下の「 (カメラ手動切替ボタン)」を押す

押すたびに現在選択しているカメラの映像および音声に切り替わります。

表示させたいカメラが表示されるまで繰り返し押します。

 を押すたびに切り替わります



※カメラ4台を登録している場合の表示例

※ 表示中に画面のいずれかの部分 (メニュータブ、カメラ手動切替ボタン以外) を押すと、分割表示モードに戻ります。

■ズーム表示する

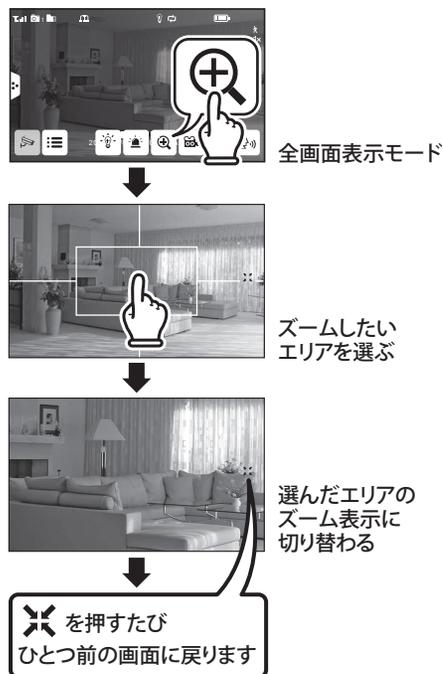
全画面表示モードで表示中は、表示している映像をズーム (拡大) 表示できます。

ズーム表示にする

(全画面表示モード画面で)

画面左横の「メニュータブ」を押し、 (ズーム) を押して、拡大したい部分を押す

選んだエリアがズーム表示されます。



※ 分割表示モード中はズーム表示できません。

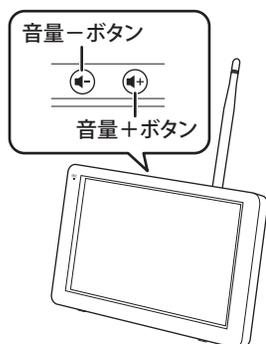
■元の画面に戻るには

ズーム表示中に画面右の「」を押すと、ひとつ前の画面に戻ります。もう一度押すと、元の画面に戻ります。

■液晶モニターの音量を調節する

本機はカメラに内蔵されている音声マイクで、カメラ設置場所周辺の音声をモニタリングすることができます。
音声モニタリング時の液晶モニターの音量は調節できます。

音量＋／－ボタンを押す



画面に現在の音量が表示されます。

音量は0（消音）～9（最大）に調節できます。

※ 0（消音）にした場合、画面右上に消音（) アイコンが表示されます。

ご参考

- 分割表示モード中は、音声のモニタリングはできません。なおその際、音量＋／－ボタンを押しても操作は無効となります。
- カメラ側のスピーカー音量は調節できません。
- 液晶モニターの音量を0（消音）にしても、録画されたファイルには音声記録されます。録画時に音声を録音する・しないを設定するには「録音 On/Off」(☞ 37 ページ) で設定します。
- カメラの向きや設置場所周辺の環境などによっては、音声をうまく集音できない場合があります。

■カメラの白色 LED ライトを手動で点灯・消灯する

カメラに搭載された白色 LED ライトの点灯・消灯を液晶モニター側で操作することができます。

※ 白色 LED ライトは、動体検知と連動して点灯させるセンサーライトとして使用することもできます（「アラート設定」(☞ 47 ページ)）。

また、タイマーで決まった日時に点灯・消灯させることもできます（「照明設定」(☞ 50 ページ)）。

（全画面表示モード画面で）

画面左横の「メニュータブ」を押し、（LED ライト）を押す

押すたびに点灯・消灯が切り替わり、画面上部にアイコンが表示されます。

-  …消灯
-  …点灯

※ 手動で操作をしたあとにセンサーが感知、もしくはタイマー機能が作動した場合は、その動作が優先されます（☞ 50 ページ）。

ご参考

- 分割表示モード時は LED ライトの操作はできません。

■カメラのアラート音を鳴らす

カメラに搭載されたスピーカーからアラート音（警報）を鳴らすことができます。

※ アラート音の種類は1種類のみ（サイレン音）です。

（全画面表示モード画面で）

画面左横の「メニュータブ」を押し、（アラート）を押し

押し続けている間、カメラのスピーカーからアラート音が鳴動します。

ご参考

- 全画面表示モード時のみお使いいただけます。
- カメラ側のスピーカー音量は調節できません。
- 同時に複数のカメラからアラート音をだすことはできません。

■簡易トランシーバー機能を使う

カメラと液晶モニターにはそれぞれマイクとスピーカーが搭載されています。

液晶モニターのPTT ボタンを押し続けている間は、液晶モニターからカメラに送話することができます。

（全画面表示モード画面で）

画面左横の「メニュータブ」を押し、（PTT）を押し続けながら送話する

押し続けている間、液晶モニターのマイクからカメラのスピーカーへ送話できます。



※ 液晶モニター側でPTT ボタンを押し続けている間は、カメラ側の音声は聞こえません。

PTT ボタンを離すと、カメラ側の音声聞こえる状態に戻ります。

ご参考

- 全画面表示モード時のみお使いいただけます。
- カメラ側のスピーカー音量は調節できません。
- 無線通信のため、音声に多少遅延が生じます。

映像を録画する

映像を録画する際は、あらかじめ microSD カードを挿入しておく必要があります (☞ 14 ページ)。

- microSD カードが挿入されていないと、録画操作を受け付けません。
- 録画を行う前に「時刻設定」で日時 (☞ 39 ページ) を正しく設定してください。

microSD カードに関するご注意

- **本機で初めて使用する microSD カードは、ご使用前に必ず本機メニューからフォーマットを行ってください (☞ 43 ページ)。**
- **録画用の microSD カードは必ず本機専用としてお使いください。他の機器と兼用すると、データの破損などのトラブルの原因となります。**
- 本機でお使いいただけるのは、最大容量 256GB までの microSD カード、microSDHC カード、または microSDXC カードです。
- すべての microSD カードの動作を保証するものではありません。
- 規格外の microSD カードや microSD カード以外のものを挿入しないでください。
- microSD カードの録画・再生操作中は、本機の電源を切ったり、カードを抜き差ししたりしないでください。
- microSD カードの抜き差しは、必ず液晶モニターの電源を「オフ」にしてから行なってください。
- microSD カードの上書きについて「ファイル上書き」(☞ 34 ページ) 設定で microSD カードの上書きを行わないよう設定している * 場合、使用する microSD カードに録画に必要な空き容量があることを確認してください。録画中に空き容量がなくなると、録画が停止してしまいます。事前に十分ご確認ください。
- microSD カードの記録内容は、事故や故障によって消失や変化してしまうことがあります。大切なデータは必ずバックアップをお取りください。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- microSD カードにも寿命があります。長期間ご使用後にデータの書き込みや読み出しができなくなった場合は寿命と考えられますので、新しい microSD カードとお取り替えてください。特に頻繁に動体検知が作動する場合や、長時間のスケジュール録画の設定では書き込みデータ量が多くなりますので、一般のデジタルカメラ等でのご使用に比べて microSD カードの寿命が短くなります。
- microSD カードを定期的にフォーマットしていただくことで microSD カードエラーの発生する可能性が低くなります。**microSD カードのフォーマットは本機のメニューから行ってください (☞ 43 ページ)。**

microSD カードの容量がいっぱいになると、画面にアラートが表示されます。この場合は録画ファイルを削除するか、お使いのパソコンなどにデータを移動させてください。なお、上書きを行う設定の場合は、microSD カードの容量が一杯になったとき、microSD カード内に保存されている日時の古いデータから順に消去されます。
* 注：工場出荷時設定は“上書きする”設定です。

録画時間・録画容量について

録画データを保存する際にご参考ください。

録画可能時間目安

記憶容量	カメラ1台
32GB	24 時間
64GB	48 時間
128GB	96 時間
256GB	192 時間

- ※ 上記は録画時間の目安です。撮影される映像の内容や通信環境により録画時間は変動します (目安の半分から 3 分の 1 程度になることもあります)。
- ※ カメラ複数台で同時に録画する場合は、カメラの台数に応じて録画時間が減少します。
- ※ 解像度の設定は「解像度」(☞ 33 ページ) でカメラチャンネルごとに設定することができます。
- ※ 録画中のカメラとモニターの通信が途切れた場合は、録画が中断されます。
- ※ 保存された録画ファイルの数が多くなると、読み込みに時間がかかることがあります。

録画ファイルについて

- 録画ファイルはファイルサイズが大きいため、「動体検知録画」での録画をおすすめ致します。
- 本機で録画した映像は日付別に保存され、録画日時と録画カメラ番号を表すファイル名で管理されます。

A 10 10 23 1
└─ 時 分 秒 ─┘ カメラ番号
└─ A:午前 / P:午後 ─┘

- 録画ファイルは自動的に 5 分毎に区切られて保存されます。5 分以上続けて録画する場合は、複数のファイルに分けて保存されます。

映像を録画する (つづき)

映像を自動で録画する (動体検知機能で録画する)

本機は動体を検知すると自動的に映像を記録する、動体検知録画機能があります。

- 工場出荷時設定では、すべてのカメラの動体検知機能録画が「オン」になっています。

動体検知モードが「オン」のときは、 アイコンが赤色表示されます。

- ※ 動体検知録画中は  アイコンが赤色点滅します。
- ※ 録画された映像は「録画一覧」(☞次ページ)で確認できます。
- ※ 録画時間や動体検知録画のオン・オフなど、動体検知録画に関する設定については「録画設定」(☞35ページ)、感度や検知範囲など動体検知に関する設定については「動体検知設定」(☞45ページ)をご覧ください。

ご参考

- 録画時間は15秒・30秒・1分のいずれかに設定できます(☞35ページ)。
- 録画時間は動体検知が続くたびに延長されます。最後に検知したときから設定した録画時間(15秒・30秒・1分のいずれか)が経過したときに、録画を終了します。
- 動体検知録画機能に連動して、カメラの赤色LEDを点滅させたり、音声によるアラート(警報)を行うことができます(☞49ページ)。

映像を自動で録画する (予約録画機能で録画する)

録画を行うカメラや録画を行う曜日、録画開始時間・終了時間を指定して録画する、予約録画ができます。

- ※ 予約録画の設定方法については「予約録画」(☞36ページ)をご覧ください。

映像を手動で録画する

録画を任意に開始・終了することができます。
録画表示モード時に押しとカメラを指定した録画、分割表示モード時に押しと、接続されている有効なカメラすべてを録画します。
※ 録画された映像は「録画一覧」(☞28ページ)で確認できます。

ご注意!

- 手動録画の場合、録画は自動停止しません。

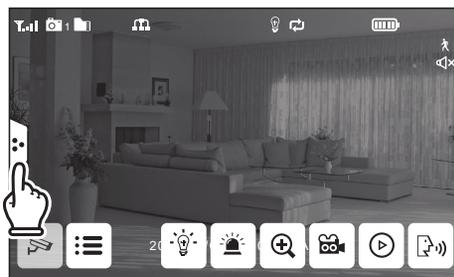
カメラを指定して録画する

特定のカメラを指定して録画できます。

1 録画したいカメラチャンネルを全画面表示モードにする

2 画面左横のポップアップメニュータブを押す

ポップアップメニューが表示されます。



3 (録画) を押す

選択したカメラ映像の録画が始まります。
録画中は  アイコンが赤色点滅します。

映像を録画する (つづき)

録画を終了するには

ポップアップメニュータブを押し、 アイコン (赤色) を押します。

すべてのカメラを録画する

接続されている有効なカメラすべてを録画します。

1 分割画面表示モードにする

2 画面左横のポップアップメニュータブを押す

ポップアップメニューが表示されます。



3 (録画) を押す

すべてのカメラ映像の録画が始まります。

録画中は  アイコンが赤色点滅します。

録画を終了するには

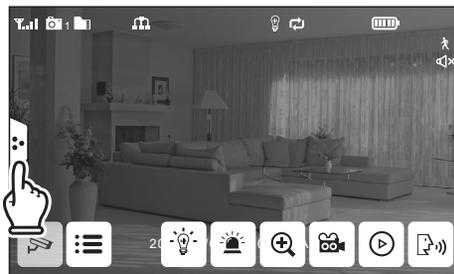
ポップアップメニュータブを押し、 アイコン (赤色) を押します。

録画した映像を見る・削除する (録画一覧)

録画ファイルを再生する

1 画面左横のポップアップメニュータブを押す

ポップアップメニューが表示されます。



2 (録画一覧) を押す

録画一覧画面が表示されます。

● 液晶モニター本体上面の  (録画一覧) ボタンを押しても同様に表示させることができます。

前の月、次月の一覧を表示します。

すべてのカメラ、またはカメラごと (カメラ1~4) に切り替えて、録画映像の有無が確認できます。



録画映像のある日にはハイライト表示されます。

録画した映像を見る・削除する（録画一覧）(つづき)

- 3** 録画映像のあるいずれかの日にちを押す
選んだ日にちの録画ファイルがリスト表示されます。



- 4** 確認したい映像ファイル名を押す

再生が始まります。



※再生中は画面下に表示される操作ボタンで、以下の操作が行えます。

	再生/一時停止		前の映像
	停止		次の映像
	巻戻し (×1 / ×2 / ×4 / ×8 / ×16)		
	早送り (×2 / ×4 / ×8 / ×16)		

- 5** 録画一覧を終了するには、画面上部のいずれかのアイコンを押す

…ひとつ前の画面に戻ります。

…通常表示画面に戻ります。

ご参考

- 録画済みの映像を同時に複数の端末で視聴することはできません。
(例：アプリを使用してスマートフォンで視聴しているときは、液晶モニターでの視聴はできません。)
- 分割保存されたファイルを連続で再生することはできません。

録画ファイルを削除する

以下のいずれかの方法で削除できます。

- ・ 手順3のリスト表示画面で、ファイル名の右端にある （ゴミ箱）アイコンを押す
- ・ 手順3の再生画面で、映像再生中に停止または一時停止し、操作バー内にある （ゴミ箱）アイコンを押す

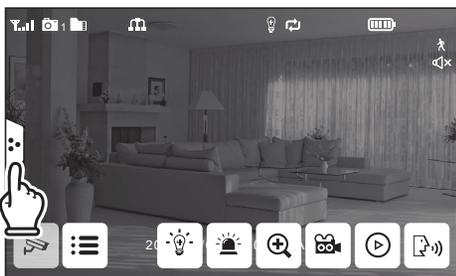
各種設定

■メニューについて

本機に関する各種設定は、液晶モニターのメニュー画面で行います。

メインメニュー・各メニューを表示する

- 1 画面左横のポップアップメニュータブを押す
画面下部にポップアップメニューが表示されます。



- 2 ≡ (メインメニュー) を押す

メインメニューが表示されます。



メインメニューには、以下の6つの設定項目が表示されます。

設定メニュー	参照ページ
カメラ設定	☞ 31 ~ 34 ページ
録画設定	☞ 35 ~ 38 ページ
システム設定	☞ 39 ~ 44 ページ
動体検知設定	☞ 45, 46 ページ
アラート設定	☞ 47 ~ 49 ページ
照明設定	☞ 50 ページ

- 3 メニュー項目を選択し、設定する

すべての操作はモニター画面に直接触れて（タップして）行います。表示される画面上のボタンや選択項目等を押してください。

- 4 表示中のメニュー項目を終了するときは、メニュー画面上部にあるいずれかのアイコンを押す

◀ …ひとつ前の画面に戻ります。

🏠 …通常表示画面に戻ります。

ご参考

- メニュー画面表示中に、何も操作しない状態が約1分間続くと、自動的に通常表示画面（分割表示モード画面）に戻ります。

■カメラ設定

「カメラ設定」では、カメラに関する以下の設定を行います。

項目	設定の内容
ペアリング	カメラと液晶モニターのペアリング設定をします。
カメラ On/Off	カメラの有効・無効を設定します。
輝度	各カメラ画面の明るさを設定できます。
解像度	カメラの表示画質（【高】1080p・【低】720p）を設定します。
ナイトビジョン設定	ナイトビジョン設定の有効・無効を設定します。
ちらつき抑制 (アンチフリッカー)	液晶モニター画面のちらつきを解消します。

ペアリング

カメラと液晶モニターのペアリング（登録）を行います。

※ ペアリングは、別売のカメラ*を増設するときや、すでに登録済みのカメラを別のチャンネルに登録し直すときなどに行います。

* 登録（増設）可能カメラ

品番	外観	おもな特長・機能
UCS001L		増設用屋外カメラ (センサーライト付) * 本機付属カメラと同等品

ご参考

- 付属のカメラ1台を含め、1台の液晶モニターにカメラを最大4台まで登録できます。
- 複数台のカメラを登録する場合、登録は1台ずつ行ってください。

登録を始める前に、ペアリングを行うカメラをあらかじめ液晶モニターの近くに置いてください。

1 「カメラ設定」画面で「ペアリング」を押す

設定画面が表示されます。



■カメラ設定 (つづき)

2 登録したいカメラチャンネル番号 (1 ~ 4 のうちいずれか) を押す

液晶モニターがペアリングモードになり、30 秒のカウントダウン画面が表示されます。



※ カウントダウン中は他の画面は表示できません。

3 30 秒以内にカメラのペアリングボタンを押す



ペアリングに成功するとカウントダウン表示が消え、約3秒後にカメラの映像が表示されます。

※ カメラの操作に関しては増設カメラ付属の取扱説明書もご参照ください。

■複数台のカメラを登録するとき

ポップアップメニューからメインメニューを表示し、「カメラ設定」を選び、手順 1 ~ 3 を繰り返して登録を行ってください。

カメラ On/Off

本機に接続されているカメラの映像を表示、または非表示に設定します。

1 「カメラ設定」画面で「カメラ On/Off」を押す

設定画面が表示されます。



2 設定を行いたいカメラ番号 (1 ~ 4) の下にあるスイッチを押す

| (表示する) または○ (表示しない) を押して切り替えます。

3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

◀ …ひとつ前の画面に戻ります。

🏠 …通常表示画面に戻ります。

ご参考

- ○ (表示しない) に設定しても、カメラの電源は「切」になりません。
- ○ (表示しない) に設定したカメラの映像は、画面に表示されません。

全画面表示モードおよびチャンネル切替時	チャンネル切替 (自動および手動) 時、チャンネルがスキップされます。
分割表示モード時	黒い画面上に「カメラオフ」のメッセージが表示されます。

■カメラ設定 (つづき)

輝度

液晶モニター画面の明るさを設定できます。
各カメラチャンネルごとに設定することができます。

- 工場出荷時設定…「03」

1 「カメラ設定」画面で「輝度」を押す

設定画面が表示されます。



2 設定を行いたいカメラ番号 (1 ~ 4) の下にある「▲」または「▼」を押し、お好みの明るさに設定する

※明るさは1 (暗い) ~ 6 (明るい) まで設定できます。

3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

◀ …ひとつ前の画面に戻ります。

🏠 …通常表示画面に戻ります。

解像度

本機に接続されているカメラの画質を設定します。

- 工場出荷時設定…「HD」

1 「カメラ設定」画面で「解像度」を押す

設定画面が表示されます。



2 設定を行いたいカメラ番号 (1 ~ 4) の下にある「FHD」または「HD」ボタンを押す

FHD	画素数：高 (1080p)
HD	画素数：低 (720p)

※この設定は録画ファイルのファイルサイズにも影響します。

3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

◀ …ひとつ前の画面に戻ります。

🏠 …通常表示画面に戻ります。

■カメラ設定 (つづき)

ナイトビジョン設定

カメラのナイトビジョン（暗視）設定を有効または無効にします。

- 工場出荷時設定…「自動（ナイトビジョン有効）」

1 「カメラ設定」画面で「ナイトビジョン設定」を押す

設定画面が表示されます。



2 設定を行いたいカメラ番号 (1 ~ 4) の下にある「自動」または「Off」ボタンを押す

自動	ナイトビジョン有効 * カメラ周辺の環境に応じてナイトビジョンの有効・無効を自動で切り替えます。
Off	ナイトビジョン無効

3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

◀ …ひとつ前の画面に戻ります。

🏠 …通常表示画面に戻ります。

ちらつき抑制（アンチフリッカー）

液晶モニター画面がちらつくときは、この設定を変更することで、ちらつきを解消できる場合があります。

- 工場出荷時設定…「60Hz」

1 「カメラ設定」画面で「ちらつき抑制（アンチフリッカー）」を押す

設定画面が表示されます。



2 「50Hz」または「60Hz」を選ぶ

3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

◀ …ひとつ前の画面に戻ります。

🏠 …通常表示画面に戻ります。

録画設定

「録画設定」では、録画に関する以下の設定を行います。

項目	設定の内容
動体検知録画時間	動体検知録画での1回あたりの録画時間を設定します。
予約録画	曜日や日時、カメラを指定して録画する設定ができます。
ファイル上書き	microSDカードの上書き設定をします。
録音 On/Off	録画時、音声の記録をする・しないを設定します。
動体検知録画 On/Off	動体検知録画をする・しないを設定します。

動体検知録画時間

動体を検知して録画を行う際の、1回あたりの録画継続時間を設定します。

- 1 「録画設定」画面で「動体検知録画時間」を押す
設定画面が表示されます。



- 2 設定を選ぶ

15 秒	動体を検知した際に、設定した時間継続して録画を行います。
30 秒	
1 分	

- 3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

◀ …ひとつ前の画面に戻ります。

🏠 …通常表示画面に戻ります。

ご参考

- 録画時間は動体を検知するたびに延長されます。最後に検知したときから設定した録画時間（15秒・30秒・1分のいずれか）が経過したときに、録画を終了します。

録画設定 (つづき)

予約録画

録画を行うカメラや録画の開始・終了時間を指定して録画できます。

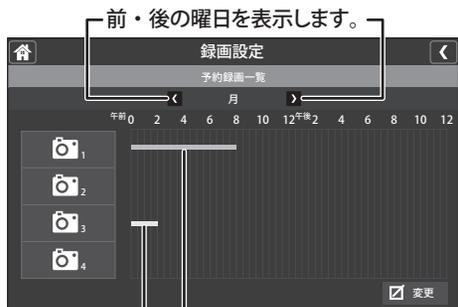
※ 複数台のカメラを使用している場合は、一度に複数台のカメラ映像を録画することもできます。

ご注意!

- 1つのセッションで日付をまたいで設定することはできません(例: 午後11時から翌日の午前1時までを1セッションで録画する、等)。日付をまたいで録画予約を設定したいときは、日付別にセッションを2つに分けて設定してください。
- 録画の実行前に、microSDカードに十分な空き容量があるか確認してください。

1 「録画設定」画面で「予約録画」を押す

予約録画一覧画面が表示されます。



予約録画設定(青色)
例)月曜の午前0時～8時に
カメラ1の映像を録画する

予約録画設定(黄色)
例)月曜の午前0時～2時にカメ
ラ3の映像を動体検知録画する

2 画面右下の「変更」を押し、登録内容を設定する

「変更」を押すと予約録画設定画面が表示されますので、下記の①～⑤を設定します。



①カメラ(1～4)を選ぶ

録画を行うカメラ(1～4のいずれか)を選びます。

②曜日を選ぶ

録画を行う曜日を選びます(複数の曜日選択も可能)。

③開始時間、終了時間を設定する

録画を開始、終了する時刻をそれぞれ設定します。

※日付をまたいで時間を設定することはできません。

④動体検知録画に設定する場合は「動体」を押す

⑤録画設定を登録するには「保存」を押す

設定が保存され、予約録画一覧画面に戻ります。

※一覧画面で設定した日時が登録されているか確認してください。

3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

← …ひとつ前の画面に戻ります。

🏠 …通常表示画面に戻ります。

登録済みの録画スケジュールを削除するときは

予約録画設定画面で、削除したい設定内容(カメラ番号、曜日、開始・終了時間)を画面上で設定したあと、「削除」を押します。

録画設定 (つづき)

ファイル上書き (microSD カードの上書き設定)

録画中に microSD カードの容量が一杯になった場合に、microSD カードに保存されたデータの上書きをする、しないを設定します。

- 工場出荷時設定… 「はい (データを上書きする)」

1 「録画設定」画面で「ファイル上書き」を押す

設定画面が表示されます。



2 設定を選ぶ

はい	データを上書きする ※ 録画実行中に microSD カードの空き容量が一杯になった場合、microSD カード内に保存されている日時の古いデータから順に消去されます。
いいえ	データを上書きしない ※ 録画実行中に microSD カードの空き容量が一杯になった場合、録画が中止されます。

※「はい (上書きする)」に設定すると、全画面表示モードまたは分割表示モードで表示した際、画面右上に  アイコンが表示されます。

3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

 …ひとつ前の画面に戻ります。

 …通常表示画面に戻ります。

録音 On/Off

録画の際、音声を録音する、しないを設定します。

- 工場出荷時設定… 「|」 (録音する)」

1 「録画設定」画面で「録音 On/Off」を押す

設定画面が表示されます。



2 設定を行いたいカメラ番号 (1 ~ 4) の下にあるスイッチを押す

| (録音する) または ○ (録音しない) を選択します。

3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

 …ひとつ前の画面に戻ります。

 …通常表示画面に戻ります。

録画設定 (つづき)

動体検知録画 On/Off

動体検知録画をする、しないを設定します。

- 工場出荷時設定…「|」（動体検知録画をする）」

1 「録画設定」画面で「動体検知録画 On/Off」を押す

設定画面が表示されます。



2 設定を行いたいカメラ番号 (1 ~ 4) の下にあるスイッチを押す

| (動体検知録画をする) または○ (動体検知録画をしない) を選択します。

3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

◀ …ひとつ前の画面に戻ります。

🏠 …通常表示画面に戻ります。

システム設定

「システム設定」では、システム全般に関する以下の設定を行います。

項目	設定の内容
時刻設定	日付と時間を設定します。
ネットワーク設定	インターネット接続に関する設定をします。
言語	表示言語を設定します。
初期設定	設定を工場出荷時の状態に戻します。
メモリーカードを初期化	microSD カードを初期化します。
フリッカー	液晶モニター画面がちらつく場合などに設定します。

時刻設定

現在の日付・時刻を設定します。

ご注意！

- スケジュール録画などはこの設定日時を基準としますので、正しい日付・時刻を設定してください。正しい日付・時刻が設定されていない(または大幅に時刻がずれている)と、録画ファイルやネットワーク接続に不具合が生じる場合があります。

1 「システム設定」画面で「時刻設定」を押す

設定画面が表示されます。



2 日付や時刻を設定する

手動で設定する場合

必要に応じて各項目(年・月・日・時・分)を選び、それぞれ▲▼を押して設定します。

※「時」については午前または午後を指定してください。

自動で設定する場合

「インターネット上のタイムサーバーと自動同期」を選ぶと、画面左の枠内にチェックマーク(✓)が付きます。インターネット上の時刻サーバーから現在の日付・時刻をダウンロードし、自動調整します。

※本機がインターネットに接続されている必要があります。

※ネットワークの設定によっては自動同期できないことがあります。その場合は手動で日付・時刻を設定してください。

3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

◀ …ひとつ前の画面に戻ります。

🏠 …通常表示画面に戻ります。

システム設定 (つづき)

ネットワーク設定

ご参考

- 本機は IPv6 のインターネット接続には対応していません。
- お使いのネットワーク環境によっては外部接続ができません。企業や団体など管理者により管理されているネットワークに接続する場合は、あらかじめネットワーク管理者へご相談ください。
- DHCP で IP アドレスが取得できない場合は、ルーターなどの取扱説明書を参照し、手動で IP アドレスなどの設定を行ってください。
- ネットワークエラーが発生すると、自動で再起動を行い改善を試みる場合があります。何回か再起動を行っても改善しない場合は、LAN ケーブルを抜いて設定の確認を行ってください。

「ネットワーク設定」では、インターネット接続に関する設定や、関連情報の確認が行えます。

項目	設定の内容
詳細設定	インターネットに接続する際の IP アドレス割り当て方法を設定します。
パスワードをリセット	パスワードを初期化します。
情報	ネットワーク情報、製品端末情報などを表示します。

■ 詳細設定

インターネットに接続する際に必要となる IP アドレスの割り当て方法を設定します。

DHCP または固定 IP のいずれかを選びます。

※ 通常は「DHCP」を選んでください。

(DHCP サーバー機能を搭載したブロードバンドルーターなどに接続し、自動で IP アドレスを取得させる設定方法です。)

- 1 「ネットワーク設定」画面で「詳細設定」を押す設定画面が表示されます。



- 2 「DHCP」または「固定 IP」のいずれかを押す

DHCP	IP アドレスを自動で割り当てる ※ 画面中央にあるスイッチを押します (または○)。
固定 IP	IP アドレスを手動で設定する ・ IP アドレス ・ サブネットマスク ・ デフォルトゲートウェイ ※ 各欄を選択すると画面右上にテンキーが表示されます。ご契約のインターネット回線の設定値に基づき各項目を入力したあと、画面下部にある「保存」を押してください。

※「固定 IP」を選んだ場合は、以下の設定画面が表示されます。



固定IP設定画面

■ システム設定 (つづき)

設定が終了すると、再起動を促すメッセージが表示されます。**必ず再起動を行ってください。再起動しないと設定が有効にならず、「ネットワーク情報」などが更新されません。**

3 設定を有効にするため、「はい」を選んで液晶モニターを再起動する

液晶モニターが再起動後、受信画面を表示します。

4 正しく接続されたことを確認する

「情報」(👁️次々項)を表示してネットワーク情報が取得できていることを確認してください。

■ パスワードをリセット

スマートフォンなどを使って外部から本機へ接続する際は、パスワードが必要となります。

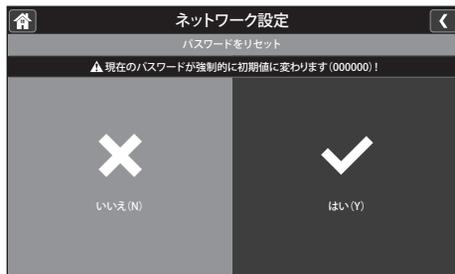
- パスワードの工場出荷時設定…「000000」

ご参考

- パスワードの設定・変更はスマートフォンアプリ「U Guard」で行います。液晶モニターではパスワードのリセット(工場出荷時設定に戻す)のみ行うことができます。

1 「ネットワーク設定」画面で「パスワードをリセット」を押す

設定画面が表示されます。



2 設定を初期化するには「はい」を選ぶ

「はい」を選ぶと、パスワードが初期化されます(初期値 000000)。

初期化が完了すると、再び「ネットワーク設定」画面に戻ります。

3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

◀ …ひとつ前の画面に戻ります。

🏠 …通常表示画面に戻ります。

■ 情報

IP アドレスなどインターネット設定に関する情報や、機器の固有 ID 番号 (UID) などを確認できます。

1 「ネットワーク設定」画面で「情報」を押す

情報画面が表示されます。



2 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

◀ …ひとつ前の画面に戻ります。

🏠 …通常表示画面に戻ります。

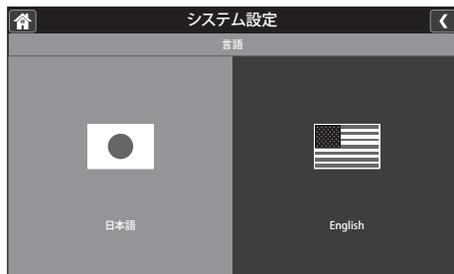
システム設定 (つづき)

言語

モニター画面に表示される言語を設定します。

1 「システム設定」画面で「言語」を押す

設定画面が表示されます。



2 言語を設定する

「日本語」または「English (英語)」を選びます。

3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

◀ …ひとつ前の画面に戻ります。

🏠 …通常表示画面に戻ります。

初期設定

すべての設定（下表に記載のものを除く*）を工場出荷時の状態に戻します。

* 以下の各メニューの設定項目は初期化されません。

カメラ設定	登録（ペアリング）・On/Off
システム設定	日付と時間
ネットワーク設定	パスワード ※ パスワードの初期化を行いません。

1 「システム設定」画面で「初期設定」を押す

設定画面が表示されます。



2 設定を初期化するには「はい」を選ぶ

「はい」を選ぶと、直ちに設定の初期化が行われます。初期化が完了すると、「システム設定」画面に戻ります。

3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

◀ …ひとつ前の画面に戻ります。

🏠 …通常表示画面に戻ります。

システム設定 (つづき)

メモリーカードを初期化

本機に挿入されている microSD カードを初期化 (フォーマット) します。

※ 初期化すると、microSD カード内のすべてのデータが消去されます。誤ってデータを消去することのないよう、くれぐれもご注意ください。

✎ microSD カードを破棄する場合は、必ず市販のデータ消去ツールを使ってデータを完全に消去するか、ハサミなどで物理的に microSD カードを切断してから処分してください。

1 「システム設定」画面で「メモリーカードを初期化」を押す

設定画面が表示されます。



2 フォーマットを行うには「はい」を押す

ご注意!

- 「はい」を押すと、直ちにフォーマットが開始されますのでご注意ください。

初期化が完了すると「フォーマット完了」とメッセージが表示され、「システム設定」画面に戻ります。

3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

- ◀ …ひとつ前の画面に戻ります。
- 🏠 …通常表示画面に戻ります。

ファームウェア更新

「ファームウェア更新」は、本機のファームウェアを更新するときに使用します。

ご注意!

- ファームウェアの更新には時間が掛かる場合があります。そのため更新を行う際は必ず液晶モニターを AC アダプターに接続し、常時給電した状態で行ってください。

ファームウェア更新には、以下の2つの方法があります。

- インターネットダウンロードによる更新
- microSD カードによる更新

■ インターネットダウンロードによる更新

最新版ファームウェアがある場合には、液晶モニター画面右下に  アイコンを表示してお知らせします。

※ 最新版ファームウェアのお知らせを受信するには、本機がインターネットに接続している必要があります。

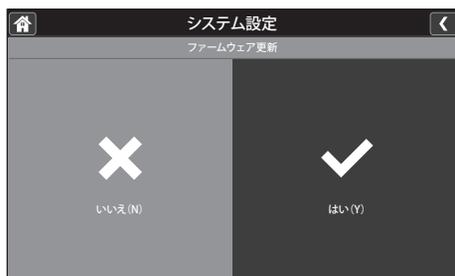
1 「システム設定」画面で「ファームウェア更新」を押す

設定画面が表示されます。



■システム設定 (つづき)

2 「サーバーから更新」を押す



3 更新を行うには「はい」を選ぶ

更新が始まると、経過画面が表示されます。
更新が終了すると、本機は自動的に再起動されます。

■ microSD カードによる更新

最新のファームウェアに関する情報を、ユニデンホームページで
ご確認ください。

https://unidenholdings.jp/uniden_jp/support/softwaredl.html

事前にユニデンホームページから最新のファームウェアをダウン
ロードし、microSD カードのルートディレクトリに保存してくださ
い。

保存した microSD カードを、モニターの電源がオフの状態でも
モニター側面の microSD カードスロットに挿入してください。

※microSD カードの挿入のしかた (☞ 14 ページ)

1 「システム設定」画面で「ファームウェア更新」を押す 設定画面が表示されます。



2 「メモリーカードから更新」を押す



3 更新を行うには「はい」を選ぶ

更新が始まると、経過画面が表示されます。
更新が終了すると、本機は自動的に再起動されます。

■ 動体検知設定

本製品は、カメラの人感センサーによる検知と、映像動体検知を行います。

動体検知は、以下の組み合わせで使用することができます。

人感センサー検知と、動体検知の両方を行う
人感センサー検知、または動体検知のいずれかを行う
人感センサー検知と、動体検知どちらも行わない

※ 設定はカメラごとに行います。

※ 動体検知の場合、映像内の変化が小さいと検知しないことがあります。

項目	設定の内容
感度	検知方法の設定、および動体検知と人感センサーの各検知感度を設定します。
検知範囲	映像内で動体検知を行わない範囲を指定できます。

1 メインメニュー画面で「動体検知設定」を押す

動体検知設定画面が表示されます。



2 設定を行いたいカメラ番号(1～4)の「感度」または「検知範囲」を押す

■ 「感度」を設定する



検知の種類	検知の方法
VMD (Video Motion Detection)	映像動体検知
PIR (Passive Infrared Ray)	人感センサー検知

検知方法と検知感度を、それぞれ以下の手順で設定します。

人感センサー検知・ 動体検知の両方を行う場合	①「VMD and PIR」を選ぶ ②それぞれの検知感度*を設定する
人感センサー検知、 または動体検知の いずれかを行う場合	①「VMD or PIR」を選ぶ ②使用しない検知方法の検知感度を「Off」にし、使用する検知方法の検知感度*を設定する
人感センサー検知・ 動体検知どちらも 行わない場合	①「VMD or PIR」を選ぶ ②両方の検知感度を「Off」にする

✎ 「VMD and PIR」はVMD、PIR両方のセンサーが検知して初めて動体検知が作動するため、「VMD or PIR」に比べて誤動作の可能性が比較的少なくなります。「VMD or PIR」はいずれか一方のセンサーが検知すると作動するため、誤動作は「VMD and PIR」と比べて多くなる可能性があります。動体検知が作動しやすくなります。

* 検知感度の設定

お好みの設定値(高/中/低/Off(検知を行わない))を選んで設定します。

■ 動体検知設定 (つづき)

■ VMD：映像動体検知の「検知範囲」を設定する



└ マスクエリア (網掛け部分)

…指定した部分のVMD：映像動体検知を行いません。

「検知範囲」を選ぶと、設定画面が表示されます。
表示画面内で、検知したくない場所の枠を押すと白く網掛け表示され、マスクエリア (非検知範囲) に指定されます。

※画面上で見えている部分が検知を行う範囲 (検知範囲) となります。

※網掛け部分をもう一度押すと、範囲の指定が解除されます。

3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

◀ …ひとつ前の画面に戻ります。

🏠 …通常表示画面に戻ります。

■アラート設定

カメラが動体を検知した際に、液晶モニター側でアラート音を鳴らしたり、カメラ側で LED ライトのフラッシュ点滅や、音声による警報（音声アラート）を発報するよう設定できます^(※)。

^(※) 動体検知設定が「オン」に設定されている必要があります。

ポップアップメニューから「アラート設定」を押す

アラート設定画面が表示されます。



モニター側、カメラ側それぞれに以下の設定項目があります。設定を行いたいいずれかの項目をタップします。

	項目	設定の内容
モニター側アラート	アラート音量	アラート音量を設定します。
	カメラ選択	カメラ（チャンネル）毎にアラートの通知をする・しないを設定します。
	アラート消音時間設定	アラート通知を行わない日時を設定します。
カメラ側アラート	抑止ライト	動体検知時、LED ライトのフラッシュ点滅をする・しないを設定します。
	ボイスメッセージ	動体検知時、赤色 LED の点滅をする・しないを設定します。

■モニター側アラート

■アラート音量

液晶モニターのアラート音量を設定します。

1 「モニター側アラート」を押し、「アラート音量」を押す
アラート音量設定画面が表示されます。

2 画面上の一または+を押し、お好みの音量に設定する
押すたびに設定音量でアラート音が鳴ります。
※ 音量は 6 段階（無音～最大）で設定できます。

3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

…ひとつ前の画面に戻ります。

…通常表示画面に戻ります。

■カメラ選択

アラート通知をする・しないを設定します。

※ カメラチャンネル単位で設定します。

1 「モニター側アラート」を押し、「カメラ選択」を押す
カメラ選択画面が表示されます。

2 設定を行いたいカメラ番号（1～4）の下にあるスイッチを押す

|（通知する）または○（通知しない）を選択します。

3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

…ひとつ前の画面に戻ります。

…通常表示画面に戻ります。

アラート設定 (つづき)

■ アラート消音時間設定

モニター側でアラート通知を行わない日時を指定できます。

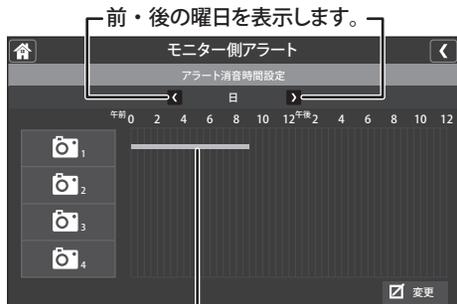
※ カメラチャンネル単位で設定します。

ご注意!

- 1つのセッションで日付をまたいで設定することはできません(例: 午後11時から翌日の午前1時までを1セッションで録画する、等)。日付をまたいで録画予約を設定したいときは、日付別にセッションを2つに分けて設定してください。

1 「モニター側アラート」を押し、「アラート消音時間設定」を押す

アラート消音時間設定画面が表示されます。



非鳴動時間設定

青色で表示されます。

例) 日曜の午前0時～9時にカメラ1のアラートを通知しない

2 画面右下の「変更」を押し、登録内容を設定する

「変更」を押すと設定画面が表示されますので、下記の①～④を設定します。



①カメラ (1～4) を選ぶ

設定を行うカメラ (1～4 のいずれか) を選びます。

②曜日を選ぶ

設定したい曜日を選びます (複数の曜日選択も可能)。

③開始時間、終了時間を設定する

開始、終了する時刻をそれぞれ設定します。

※ 日付をまたいで時間を設定することはできません。

④設定を登録するには「保存」を押す

設定が保存され、予約録画一覧画面に戻ります。

※ 一覧画面で設定した日時が登録されているか確認してください。

3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

◀ …ひとつ前の画面に戻ります。

🏠 …通常表示画面に戻ります。

アラート設定 (つづき)

カメラ側アラート

■ 抑止ライト

カメラが動体を検知した際に、カメラの赤色 LED を点滅するよう設定できます。

1 「カメラ側アラート」を押す

カメラ側アラート設定画面が表示されます。

2 設定を行いたいカメラ番号 (1 ~ 4) の下にある「抑止ライト」のスイッチを押す

| (オン) または○ (オフ) を選択します。

■ 音声アラート

カメラが動体を検知した際に、カメラのスピーカーから音声による警報を発報するよう設定できます。

※ カメラが動体を検知すると、カメラのスピーカーから「このエリアは 24 時間監視されています」と音声が出ます。

ご参考

- カメラ側のスピーカー音量は調節できません。

1 「カメラ側アラート」を押す

カメラ側アラート設定画面が表示されます。

2 設定を行いたいカメラ番号 (1 ~ 4) の下にある「音声アラート」のスイッチを押す

| (オン) または○ (オフ) を選択します。

終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

◀ …ひとつ前の画面に戻ります。

🏠 …通常表示画面に戻ります。

照明設定

カメラの白色 LED ライトに関する設定をすることができます。

1 メインメニューから「照明設定」を押す

照明設定メニューが表示されます。



2 設定を行いたいカメラ番号 (1～4) の下にある、各項目名を押す

項目	設定の内容	設定値
点灯時間	人感センサーが検知したときに白色 LED ライトが点灯を続ける時間を設定します。	Off (点灯しない) / 1分 / 3分 / 10分 ● 工場出荷時設定…「1分」
タイマー	指定した曜日や時刻に白色 LED ライトが点灯・消灯するよう設定できます。	白色 LED ライトを点灯・消灯する曜日・時刻を設定します。
ディマー	白色 LED ライト点灯時の明るさを設定します。	25% / 50% / 75% / 100%

設定値を選んで設定します。

3 終了するにはメニュー画面上部のいずれかのアイコンを押す

◀ …ひとつ前の画面に戻ります。

🏠 …通常表示画面に戻ります。

ご参考

● 日付をまたいで「タイマー」設定をするとき

例：曜日を日曜日、点灯時刻を午後 9 時、消灯時刻を午前 5 時に設定すると、日曜日の午後 9 時から月曜日の午前 5 時まで点灯させることができます。
消灯時刻の曜日を指定する必要はありません。

ご注意！

- タイマー設定は何月何日などの、特定の日にちを指定して設定することはできません。
- カメラの周囲が明るいときは、動体を検知しても LED ライトは点灯しません。

スマートフォンからアクセスする

■はじめに

ユニデン オールインワン ワイヤレスカメラ・モニター セット UCS1000M-1L は、専用アプリをインストールしたスマートフォンから、カメラ映像を表示・確認したり、スナップショット（静止画）を記録することができます。

※ 本機能を使用するためには、液晶モニターをお使いのインターネット回線に接続する必要があります。

- 付属の LAN ケーブルを使用し、本機をインターネットに接続する（☞ 44 ページ）
- 専用アプリをダウンロードし、インストールする（☞ 下記参照）

おもな機能

専用アプリでお使いいただけるおもな機能は以下の通りです。

- リモートビュー
（スマートフォンで外出先等からライブ映像を確認）
- カメラ映像の表示・確認
※ 分割表示はできません。
- 表示するカメラの切り替え
- 静止画の保存

動作環境

上記の機能は以下の機器でお使いになることができます。

- ・ iPhone
- ・ Android™ スマートフォン

ご参考

- 対応している OS のバージョンはそれぞれ以下の通りです。

iOS	14 以降
Android	7.0 以降

- ※ 対応 OS のバージョンは、専用アプリのバージョンアップ等により変更される場合があります。
- ※ 対応する OS バージョンであっても、すべての端末での動作を保証するものではありません。

アプリをダウンロードし、インストールする

お使いのスマートフォンなど、アプリをインストールしたい端末で下記の QR コードを読み取り、表示される指示に従って、専用アプリ「U Guard™」をインストールしてください。

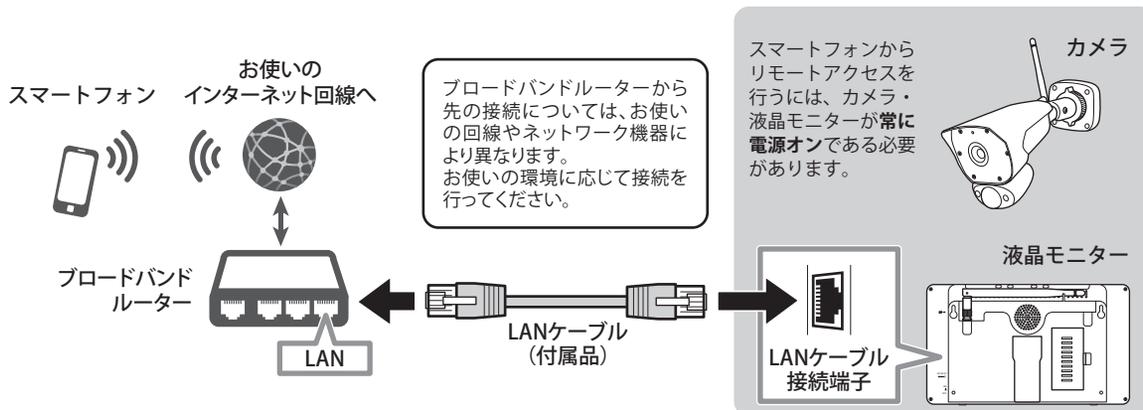
- ※ App Store、Play ストアで「U guard」と入力して検索することもできます。
- ※ U Guard アプリのダウンロード前にホームページのソフトウェア利用許諾契約書を必ずお読みください。ダウンロードを開始された場合にはソフトウェア利用許諾契約書に同意されたものとさせていただきます。

https://unidenholdings.jp/uniden_jp/support/uguard.html



■本機をインターネット回線に接続する

※本製品は、無線 LAN には対応していません。



1 LAN ケーブルを液晶モニター背面の LAN ケーブル接続端子につなぐ

液晶モニター背面の LAN ケーブル接続端子に、付属の LAN ケーブルをつなぎ、もう一方をお使いのインターネット回線に接続します。

2 液晶モニターの電源をオンにする

3 ネットワーク設定 (☞ 40 ページ) をする

外出先からスマートフォンで
接続 (リモートアクセス) するときは…

**本機を常に
【電源オン】・【インターネット接続】
の状態にしておく必要があります**

接続の前に、液晶モニター画面にインターネットに接続中であることを示すアイコン () が表示されていることを確認してください。

※ スマートフォンなど、外部からの接続があるとき (リモートアクセス中) は、アイコンが  に変わります。

スマートフォンアプリを使う

アプリに本機を登録する

アプリをインストール後初めてお使いになるときは、はじめに必要なとなる情報（接続する機器に関する情報）を登録します。

※ 本書では Android スマートフォンの場合を例に説明しています。

ご注意！

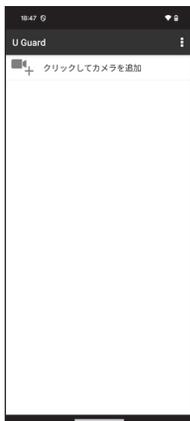
- 登録の際は、本機側（カメラ・液晶モニター）の電源がオンで、かつインターネットに接続されている必要があります。

1 「U Guard」を起動する

「U Guard」アプリのアイコンをタップします。

スタート画面が表示されたあと、右の画面が表示されます。画面の「クリックしてカメラを追加」をタップします。

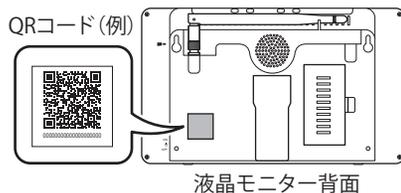
※本書に記載されているアプリ画面は一例です。バージョン等により一部異なる場合があります。



2 UIDを入力する



「UID」は液晶モニター背面の QR コードラベルに記載されています。



UID の入力方法には、以下の3つがあります。いずれかの方法で登録を行ってください。

■ QR コードをスキャンして登録する

入力欄下部にある「スキャン」ボタンをタップすると、バーコードリーダーが起動します。液晶モニター背面の QR コードを読み取ると、自動で UID が入力されます。

■ 接続している LAN 内の液晶モニターを検索する

入力欄下部にある「検索」ボタンをタップすると、同一ネットワーク (LAN) 内にある液晶モニターを検索します。液晶モニターが検索されると自動で UID が入力されるほか、IP アドレスも表示されます。

ご参考

- お使いのネットワークの設定等によっては、検索機能をご利用になれない場合があります。

■ UIDを手動入力する

入力欄をタップし、表示されたキーボードで UID を入力します。

3 デバイス名を入力する

表示されるデバイスの名称をお好みに合わせて変更できます。変更する際は入力欄をタップし、表示されたキーボードで任意の文字を入力します。

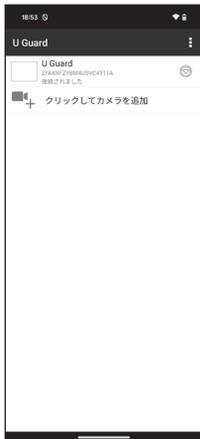
■スマートフォンアプリを使う(つづき)

4 パスワードを入力する

入力欄をタップし、工場出荷時設定「000000」を入力します。
※入力した文字は「.....」のように表示されます。

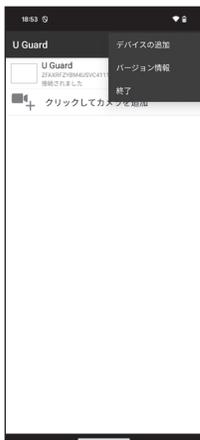
5 入力が済んだら「OK」をタップする

登録が完了すると、デバイスリスト画面が表示されます。デバイス名と接続ステータス等が表示されます。



■アプリを終了するとき

デバイスリスト画面で画面右上の「:」をタップし、表示されたサブメニューから「終了」を選びます。



パスワードを変更する

登録が完了したデバイスに初めてアクセスすると、パスワードを工場出荷時設定から任意のパスワードに変更する画面が表示されます。



1 表示された画面の「古いパスワード」欄に古いパスワードを入力する

入力欄をタップし、工場出荷時設定「000000」を入力します。

2 「新しいパスワード」欄に新しく設定したいパスワードを入力する

入力欄をタップし、新しいパスワードを入力します(半角英数のみ)。

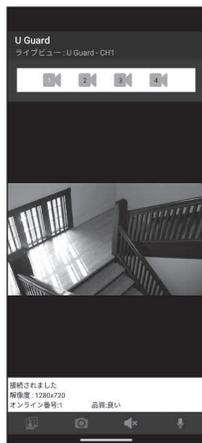
3 確認のため「パスワードの確認」欄にもう一度新しい

※端末の「戻る」ボタンを押し、「終了」を選んでも終了できます。

スマートフォンアプリを使う (つづき)

パスワードを入力し、「OK」をタップする

設定が完了すると、ライブビュー画面が表示されます。



ご参考

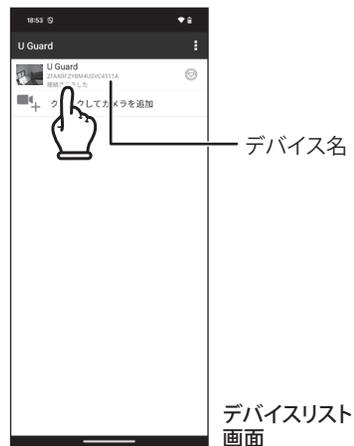
● パスワードをリセットする（工場出荷時状態に戻す）には

パスワードのリセット（工場出荷時設定に戻す）は、液晶モニターでのみ行うことができます。詳しくは「パスワードをリセット」（P.40ページ）をご覧ください。

アプリの基本的な使いかた

次回以降アプリを起動すると、登録済みのデバイスがリスト表示されます。

表示したいデバイス名をタップすると、そのデバイスの「ライブビュー」画面に切り替わります。

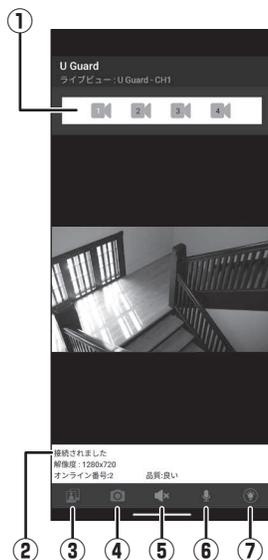


■スマートフォンアプリを使う (つづき)

■ライブビュー画面について

■ライブビュー画面を終了するとき

ライブビュー画面を終了してデバイスリスト画面に戻るときは、端末の「戻る」ボタンで操作してください。



● ライブビュー画面では以下の操作が行えます。

① カメラチャンネル切替

複数台のカメラを使用している場合に、番号 (1 ~ 4) を押すと画面を選んだカメラチャンネルに切り替えます。

② ステータス表示欄

オンライン番号	現在のリモートアクセス数を表示します (最大 4 件まで同時アクセスが可能です)。
品質	ネットワーク接続品質を表示します。

③ スナップショットの表示

「スナップショット」で撮影した映像 (静止画) を表示します。

④ スナップショット

押すとそのカメラチャンネルの映像 (静止画) を撮影します。

⑤ スピーカー

カメラの音声を切り替えます。

🔊…モニタリングする (音声を聞く)

🔊×…モニタリングしない (音声を聞かない)

⑥ マイク

押すとスマートフォンからカメラに送話することができます。

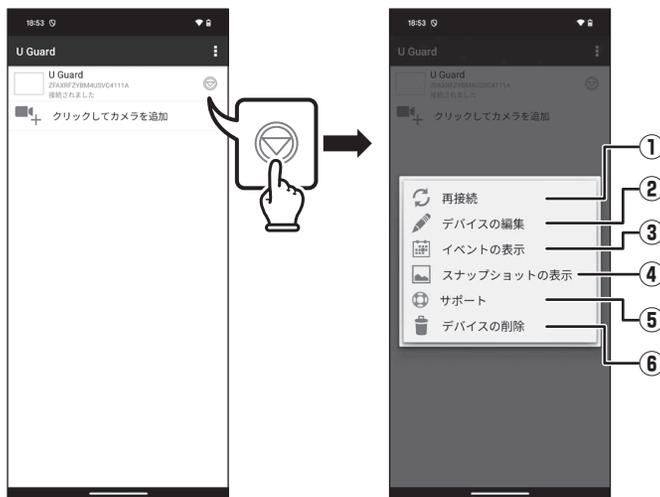
⑦ LED ライト (対応機種のみ)

押すと白色 LED ライトの点灯・消灯が行えます。

■スマートフォンアプリを使う (つづき)

■サブメニューについて

デバイスリスト画面でデバイス名欄の右端にある☰をタップすると、サブメニューが表示されます。



● サブメニューでは以下の操作が行えます。

① 再接続

システムに再接続します。

② デバイスの編集

登録済みデバイスの情報や、録画スケジュールの確認・編集ができます。

※ 詳細な設定内容については次ページをご覧ください。

③ イベントの表示

録画済みの映像を確認できます。

④ スナップショットの表示

記録済みの映像（静止画）を確認できます。

⑤ サポート

サポートに関する各種情報やリンクが表示されます。

⑥ デバイスの削除

選択しているデバイスの登録情報を削除します。

■スマートフォンアプリを使う(つづき)

デバイスを編集する

「カメラの編集」画面で「詳細な設定」を開くと、以下の設定が行えます。



アラーム間隔	登録されているデバイスが動体を検出した際、アプリを起動しているスマートフォンに通知します。 ※ ここでは通知が配信される間隔を設定します。
デバイス情報	ネットワーク情報、本製品の端末情報などを表示します。

それぞれの設定項目をタップして設定値を選択、または入力してください。

ご注意！

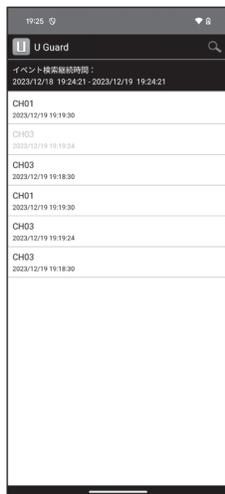
- 「アラーム間隔」は工場出荷時設定が「3分」となっておりますが、カメラの撮影環境によってはスマートフォンに大量の通知が配信されることがありますので、適宜変更されることをお勧めします。

パスワード	パスワードを変更します。 ※ 操作手順は「パスワードを変更する」(☞ 46 ページ) と同一です。
ビデオ品質	アプリ画面上でのカメラ映像の表示画質を3段階(高/中/低)に設定できます。
照明設定	カメラのLEDライトの設定を行います。 ※ 設定できる内容は「照明設定」(☞ 28 ページ) と同一です。 ※ 設定の際は、事前に設定を行いたいカメラ番号(Channel1~4)を選んでください。

■スマートフォンアプリを使う(つづき)

録画済みの映像を確認する

「イベントの表示」を開くと、録画済みの映像を確認することができます。



録画済みの映像が、カメラチャンネル番号と録画日時に基づきリスト表示されます。

■リストを絞り込んで表示する

画面右上のQアイコンをタップすると、ソート条件が表示されます。

1時間未満／半日未満／1日未満／1週間未満の条件で絞り込み表示できます。また、日付や時間、カメラチャンネルなどの条件を指定して絞り込むカスタマイズ検索もできます。

■録画済みの映像を再生する

再生したいファイル名をタップすると、再生画面に切り替わり、再生が始まります。

再生中は画面を拡大して表示したり、一時停止ボタンで再生を一時停止することができます。

ご参考

- 録画済みの映像を複数の端末で同時に視聴することはできません。
(例：アプリを使用してスマートフォンで視聴しているときは、液晶モニターで視聴することはできません。)

■故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に次のことをもう一度お調べください。

次のことを調べても、なお異常があるときは、<ユニデン>お客様センターへお電話いただくか、または<ユニデン>ホームページよりお問い合わせください。(☞裏表紙をご覧ください。)

カメラ・液晶モニター関連

症 状	チェック	対策・処置	参照ページ
カメラの映像が表示されない	●カメラと液晶モニターの電源は入っていますか？	●カメラと液晶モニターそれぞれに専用 AC アダプターを接続し、液晶モニターの電源を「オン」にしてください。	13～ 15
	●カメラと液晶モニターは十分電波の届くところにありますか？	●液晶モニターとカメラの距離を近づけてください。 ●設置場所を変更してみてください。	6
	●カメラと液晶モニターは正しくペアリングされていますか？	●カメラと液晶モニターをペアリングしてください。	31
	●液晶モニターがスタンバイモードになっていませんか？	●スタンバイモードのときは、モニター側面のステータスランプが青色点灯しています。復帰するにはいずれかのボタンを押すか、画面をタップしてください。	20
	●液晶モニターでカメラが登録されていないチャンネルを選んでいませんか？	●カメラが登録されているカメラチャンネルに切り替えてください。	23
映像がコマ落ちする (カクカクする)	●電波の受信強度は良好ですか？	●全画面表示モードで電波の受信強度を確認してください。電波が弱い場合、設置場所を変更してみてください。	19
カメラの映像が切り替わらない	●表示したいカメラの On/Off 設定が「○(表示しない)」になっていませんか？	●設定を「 (表示する)」に変えてください。	32
	●カメラの電源は入っていますか？	●カメラに AC アダプターを接続してください。	12
音声が聞こえない	●音量が 0 (消音) になっていませんか？	●音量+/- ボタンで音量を調節してください。	24
	●分割表示モードで表示していませんか？	●分割表示モードでは音声は出力されません。音声をモニタリングするには全画面表示モードに切り替えてください。	18
カメラの音声がこもるようになった	●カメラのマイクに雨水などがかかり、濡れていませんか？	●カメラのマイクに雨水などが付着している可能性があります。頻繁に発生する場合は、設置場所や方向を変更してみてください。	6

■故障かな?と思ったら(つづき)

カメラ・液晶モニター関連(つづき)

症 状	チェック	対策・処置	参照ページ
受信状況が頻繁に悪くなる	●雨や雪が降っていませんか?	●カメラを屋外に設置している場合、降雨時や降雪時は受信状況が悪くなる場合があります。	—
	●以下のような設置環境の場合、受信状況が悪くなるおそれがあります。 ・近隣に電波塔や工場、基地等がある。 ・カメラや液晶モニターのそばで電波干渉を及ぼす機器(電子レンジ等)を使用している。	●電波干渉を及ぼす機器(電子レンジ等)をカメラ、液晶モニターから遠ざける、またはカメラと液晶モニターの設置場所を変更してみてください。	6
無線到達距離以内に設置しているが受信できない、または電波が弱い	●カメラや液晶モニターの周囲に遮蔽物や反射物などありませんか?	●カメラと液晶モニターの設置場所を変更してみてください。 ●無線到達距離はめやすです。	6
画面がフリーズしている(止まったまま動かない)	●受信中に電波が途切れたおそれがあります。	●症状が頻繁に起きる場合は、カメラをペアリングし直す、またはカメラと液晶モニターの設置場所を変える等してください。	31
動体検知録画モードがはたらかない	●「動体検知設定」の「検知範囲」で、動体を検知したい箇所を「マスクエリア」に指定していませんか?	●検知したい箇所を「検知範囲」に指定してください。	45
	●動体検知感度の設定が「Off」または「低」など感度が低めに設定されていませんか?	●「中」または「高」に設定してください。	45
夜間撮影時、映像が何も映らない	●夜間、外灯などの光が入っていませんか?	●しばらく経っても映像が回復しない場合は、液晶モニターの電源を入れ直してください。 それでも解決しない場合はカメラの電源も入れ直してください。 ●設置場所やカメラの向きを変えるなどして、夜間でも正しく動作する場所に設置してください。 ●光が入る場所にカメラを設置すると、照度センサーがはたらかず、夜間撮影モードへの切り替えがされない場合があります。	6
夜間撮影時、雪が降ったような映像になる	●空気中のほこりやチリなどが赤外線LEDの光を反射するため、故障ではありません。	—	—
昼間でも映像が白黒になる	●カメラに搭載された照度センサーで周囲の明るさを感知し、自動的に夜間撮影モード(白黒映像)に切り替えています。	●設置場所やカメラの向きを変えるなどして周辺環境が明るくなるようにしてください。	6
カメラが登録(ペアリング)できない	●カメラの電源は入っていますか?	●カメラにACアダプターを接続してください。	12
	●カメラのペアリング登録ボタンを短く押していますか?	●カメラのペアリング登録ボタンは短く押してください。長く押し続けているとペアリング動作を行えない場合があります。	31

■故障かな?と思ったら(つづき)

カメラ・液晶モニター関連(つづき)

症 状	チェック	対策・処置	参照ページ
液晶モニターの電源が入らない	●ACアダプターが接続されていますか?	●ACアダプターが接続されていることを確認してください。 ●内蔵のリチウムイオンバッテリーの寿命が考えられます。ACアダプターでご使用になるか、またはリチウムイオンバッテリーを新しいものに交換してください。	15
センサーの検知範囲に人がいないのにカメラのLEDライトが点灯している	●検知範囲に人以外の熱源がありませんか? 例: エアコンの吹き出し口・室外機・風で揺れるもの・小動物・雨・雷など	●センサーは物体の温度変化を動きとして検出します。そのため人以外の熱源でも点灯する場合がありますが故障ではありません。	6
	●カメラのLEDライトを手動で点灯していませんか?	●手動での操作が優先されます。	24
	●タイマー機能が作動していませんか?	●タイマーの設定を確認してください。	50
センサーの検知範囲に人がいるのにカメラのLEDライトが点灯しない	●周囲が明るい、もしくはセンサー部分に照明等の強い光が当たっていませんか?	●周囲が明るい場合は点灯しません。 ●センサー部分に照明の光が直接入らないよう角度を調整してください。	6, 16
	●点灯時間を「Off」にしていますか?	●点灯時間設定を「Off」以外にしてください。	50
	●カメラのLEDライトを手動で消灯していませんか?	●手動での操作が優先されます。	24
	●人が静止していませんか?	●静止している場合は検知しません。	6
	●センサーと物体の間に障害物はありませんか?	●センサーと物体の間に塀などの障害物があると検出できません。カメラの向きを調整するなどセンサーが障害物に遮られないようにしてください。	6, 16
●ガラス越しに設置していませんか?	●ガラス越しでは検出できません。ガラス越しにならないよう設置場所を変えてください。	6, 16	
人が近づいても検知しにくい	●検知範囲が適切ではない。	●カメラの向きを調整してください。	6, 16
	●センサーに汚れや水が付着していませんか?	●検知部を柔らかい布で拭いてください。	6, 11
	●検知しにくい条件となっている。	●故障ではありません。	6
カメラのLEDライトが点滅する	●正しいACアダプターが接続されていますか?	●屋外カメラ(センサーライト付)専用ACアダプター(品番:PS-7005)が接続されているか確認してください。	9

■故障かな?と思ったら(つづき)

録画関連

症状	チェック	対策・処置	参照ページ
録画が行われない	●「ファイル上書き」が「いいえ(上書きをしない)」に設定されている場合、保存先の microSD カードに十分な空き容量はありますか?	●液晶モニター画面左上の microSD カードアイコンが赤色表示の場合は空き容量がありません。空き容量のある microSD カードを挿入してください。	37
	●録画を行いたいカメラの On/Off 設定が「○(表示しない)」になっていませんか?	●設定を「 (表示する)」に変えてください。	32
	●接続していないカメラを選んでいませんか?	●録画を行いたいカメラのチャンネル番号を確認してください。	—
	●液晶モニターに microSD カードが正しく挿入されていますか?	●液晶モニターに microSD カードを挿入してください。	14
	●microSD カードを本機でフォーマットしましたか?	●microSD カードはご使用になる前に、必ず本機メニューでフォーマットを行ってください。	43
	●本機では使えない microSD カードを挿入していませんか?	●本機で使用できる microSD カードに交換してください。	26
	●microSD カードが故障していたり、寿命ではありませんか?	●新しい microSD カードに交換してください。	26
	●他の機器と microSD カードを共用していませんか?	●microSD カードは本機専用でご使用ください。	26
スケジュール録画が正しく実行されない	●液晶モニターに microSD カードが正しく挿入されていますか?	●液晶モニターに microSD カードを挿入してください。	14
	●日付・時刻は合っていますか?	●正しい日付・時刻に修正してください。	39
	●録画スケジュールは正しく設定されていますか? また、録画スケジュールを設定したあと、保存ボタンをクリックしていますか?	●日付や時刻、カメラチャンネル番号などの設定内容を確認してください。	36
	●「ファイル上書き」が「いいえ(上書きをしない)」に設定されている場合、保存先の microSD カードに十分な空き容量はありますか?	●液晶モニター画面左上の microSD カードアイコンが赤色表示の場合は空き容量がありません。空き容量のある microSD カードを挿入してください。	37

■故障かな?と思ったら(つづき)

インターネット・スマートフォンアプリ関連

症 状	チェック	対策・処置	参照ページ
インターネットに接続できない	●LAN ケーブルは正しく接続されていますか?	●液晶モニターに正しく接続されているか確認してください。	52
	●「ネットワーク設定」の「詳細設定」後に、液晶モニターを再起動しましたか?	●設定を有効にするには、液晶モニターを一度再起動する必要があります。	40
	●設定は正しく行われていますか?	●「ネットワーク設定」の「情報」を開いて、設定が正しいか確認してください。	41
アプリでのリモートビューができない	●液晶モニターの電源は入っていますか?	●本機にスマートフォン等からアクセスする際は、液晶モニター・カメラの電源が「オン」で、かつインターネットに接続されている必要があります。	52
	●液晶モニターはインターネットに接続されていますか?		52
	●一度に4台を超える端末から同時にアクセスされていませんか?	●一度に同時アクセスが可能な台数は4台までです。アクセス数はライブビュー画面のステータス表示欄で確認することができます。	56

■お手入れについて

汚れたときは

ACアダプターを抜いて、柔らかい布で本体を拭いてください。

※汚れがひどいときは、水を含ませて硬く絞った布で拭き取ります。

お手入れに使用できないもの

ベンジン、シンナー、アルコール、油類、化粧品、洗剤などは表面の仕上げをいためますので使用しないでください。

保証書

✂ 切り取ってお使いください ✂

品名	オールインワンワイヤレスカメラ・モニター セット	
型名	UCS1000M-1L	
※シリアル番号		
保証期間	お買い上げから 1年間	
★お買い上げ日	年 月 日	
※お客様	お名前	
	ご住所	〒
	電話番号	
★販売店	店名・住所・電話番号	

- 本保証書は、本書記載の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
- ※印の製造番号、お客様のお名前、ご住所、電話番号欄を必ずご記入ください。
- ★印のお買い上げ日、販売店の欄に記載がない場合は、お買い上げの販売店にお申し出いただくか、領収書や配送伝票などで購入日と販売店の確認できるものと共に保管してください。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

<ユニデン>お客様センター

サポートダイヤル：03-5543-2232 E-mail：usupport@uniden.co.jp

ユニデンホールディングス株式会社
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 2-3-1
<https://unidenholdings.jp/>

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体に印刷された注意事項にしたがった正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店、または<ユニデン>お客様センターに修理をご依頼ください。無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間中でも次の場合には有料修理となります。
 - (1) 本書のご提示がない場合。
 - (2) 本書に製造番号、お買い上げ日、お客様名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
 - (3) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (4) お買い上げ後の取付場所の移動、落下、冠水などによる故障および損傷。
 - (5) 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧、その他の天災地変による故障および損傷。
 - (6) 鼠害・虫害による故障。
 - (7) 取扱説明書および本体に印刷された注意事項に従っていないことによる故障および損傷。
 - (8) 一般的な使用以外に使用された場合の故障および損傷。(取扱説明書の安全上の注意をご参照ください。)
 - (9) 付属品などの消耗品を交換する場合。
 - (10) 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合。
 - (11) オーバーホール
3. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
4. お預かりした品物の弊社保管期間が1ヶ月以上となる場合、別途保管料を頂く場合がございます。
5. 宅配便による受け取り修理のみとなります。直接のお持ち込み、出張修理はお受けしておりません。
6. 離島など遠隔地への配送の場合、別途料金が発生する場合や対応できないことがあります。
7. 弊社では取り付け、取り外しなどの設置は行っておりません。また取り付け、取り外しを含む設置費用等の負担も致しかねます。
8. 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等については責任を負いかねます。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
9. この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

仕様

カメラ	
有効画素数	約 207 万画素
レンズ	2.8mm
最低被写体照度	0ルクス（赤外線投光時）
赤外線投光距離	最大 15m
LED ライト	白色 LED 6灯
点灯モード	手動／動体検知／タイマー
外形寸法（アンテナ除く）	82（幅）× 93（高さ）× 211（奥行）mm
重量（取付マウント部含む）	520g
消費電力	3W（LED 消灯時）、12W（LED 点灯時）
動作温度範囲	- 10℃～+ 50℃
動作湿度範囲	90% 以下（但し結露無き事）
保護等級	IP66 相当 ※ AC アダプタ接続端子除く

液晶モニター	
ディスプレイサイズ／タイプ	10V型 LCD
ディスプレイ解像度	1024 × 600
タッチパネル	静電容量方式
録画解像度	最大フルHD1080P 1920 × 1080
動作温度範囲	0℃～+ 40℃
動作湿度範囲	10～90%（但し結露無き事）
外形寸法（突起部除く・スタンド収納時）	263（幅）× 158（高さ）× 32（奥行）mm
重量（バッテリー含む）	660g
フリッカー低減	50/60Hz 切り替え
microSD カード	SDHC、SDXC 対応（最大 256GB 対応）
充電時間	約 6 時間
使用時間	約 1.5 時間
消費電力	最大 10W

無線通信部	
無線通信方式	2.4GHz DSSS/OFDM 方式
周波数	2400MHz～2484MHz

※ 集音した音声は、全画面表示の際に液晶モニターで聞くことができます。

最新の商品情報やサポート情報は、ホームページにてご覧いただけます。

https://unidenholdings.jp/uniden_jp/



安全に関するご注意

ご使用の前には取扱説明書を良くお読みの上、正しくお使いください。

- 水、湿気、ホコリ、油煙等の多い場所には設置しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 浴室やシャワー室では使用しないでください。本機は防水仕様ではありません。感電や故障などの原因となることがあります。
- 不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

取扱説明書は、右記のホームページにてご覧いただけます。

https://unidenholdings.jp/uniden_jp/support/manualdl.html

愛情点検



長年ご使用の製品の点検を!

熱、湿気、ホコリの影響や、使用度合によっては部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながる場合があります。

このような
症状は
ありませんか

- ACアダプターのコードが傷んでいる。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 内部に水や異物が入った。
- 正常に動作しなくなった。

ご使用中止

故障や事故防止のため、コンセントからACアダプターを抜き、必ず<ユニデン>お客様センターにご相談ください。

保証書に関するお願い

- 保証書にはお買い上げ日をご記入の上、配送時の伝票と共に大切に保管してください。
- 保証期間・保証規定については保証書の内容をよくご確認ください。保証期間中でも有償修理になる場合があります。

注意事項

- 本機を使用できるのは日本国内のみです。
- 製品の仕様およびデザインは、改善等のため予告無く変更する場合があります。
- お客様から弊社にお電話にてご連絡いただいた場合、正確な対応のため、通話内容を記録・録音させていただくことがあります。
- ユニデンホールディングス株式会社およびその関連会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や配送・修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
- 電話受付時間は、諸般の事情により予告無く変更する場合があります。電話受付は、土・日・祝日・年末年始など特定の期間に休ませていただく場合があります。
- 大電力の工業施設等でお使いの場合には、ノイズが発生したり、LCD表示がちらつく場合があります。

- iPhoneは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Google, Android, Google PlayはGoogle LLCの商標または登録商標です。
- その他、本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の登録商標または商標です。

<ユニデン>お客様センター

当社製品のお取り扱い方法など、ご不明な点は下記にご相談ください。

サポートダイヤル

03-5543-2232

E-mail usupport@uniden.co.jp

<ユニデン>製品情報サイト

https://unidenholdings.jp/uniden_jp/